

DOJIN
R18
成人向け

18歳未満の
購入・閲覧禁止



異国 料理の 理人

～はじめての冒険記番外編～

王都
クラファンニア

そのスープを
ひとつおくれ

毎度ツ!!

らっしやい!
らっしやい!
美味いトヨの
料理だよ!

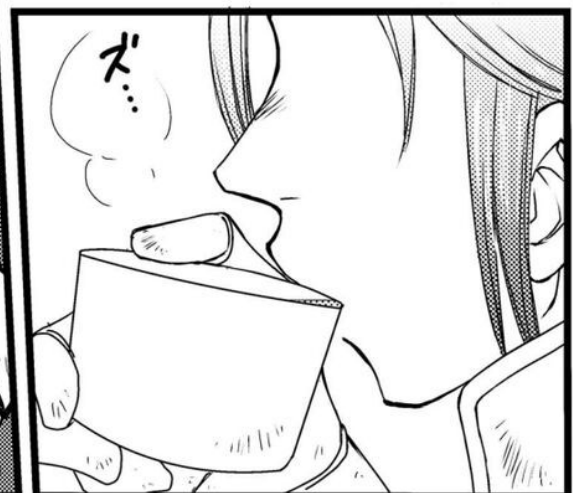
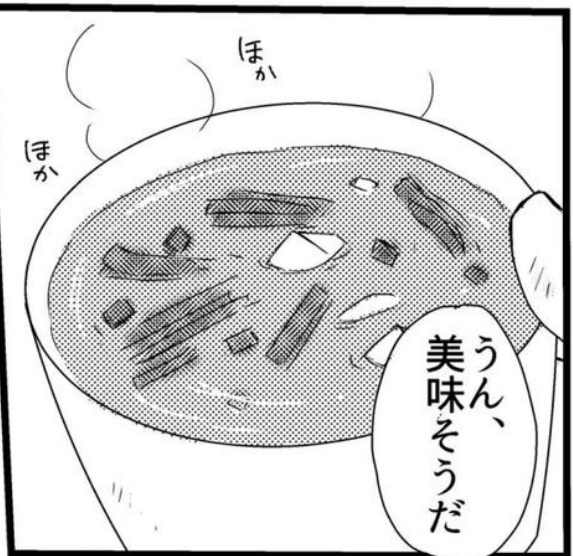
俺の名はキル。
トヨ国の実家を
飛び出しこの大陸で
念願の商売を始めた
新米料理人だ!

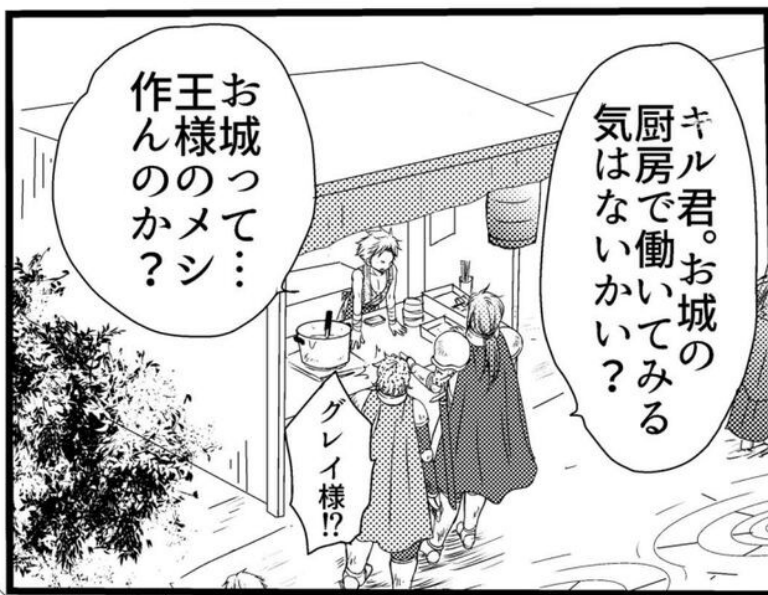
なんでも
異国の変わった
料理とか:

ほう

ああ、最近評判の
屋台らしいですよ

子供が
店主を?





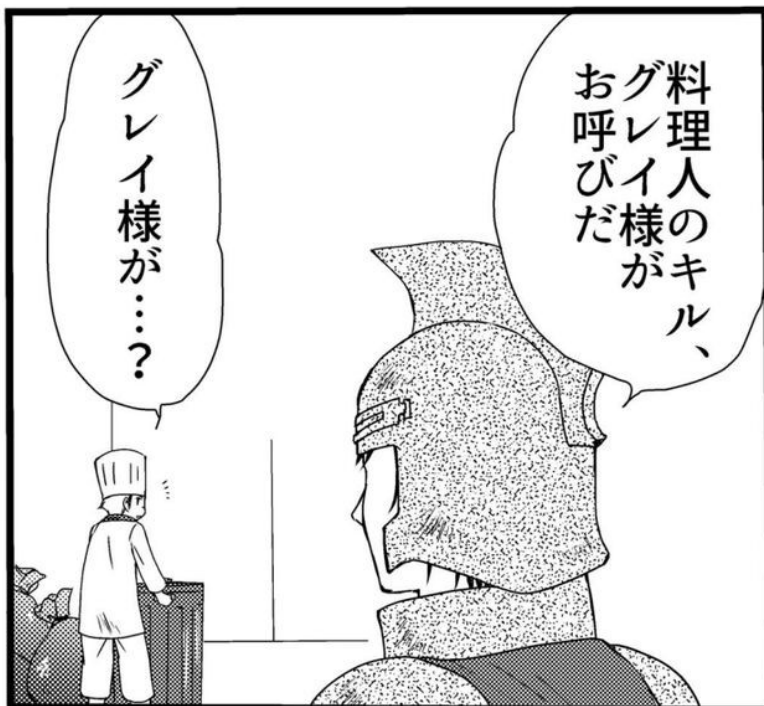
こうして俺は、
王城の厨房に入っ
た。王城の厨房に
入った。王城の
厨房に入った。



お城で
働けるん
だなんて
夢みて
たんだ



王様の好みを
徹底的に勉強し、
充分に腕を
充実させた。



グレイ様が……？

料理人のキル、
グレイ様が
お呼びだ



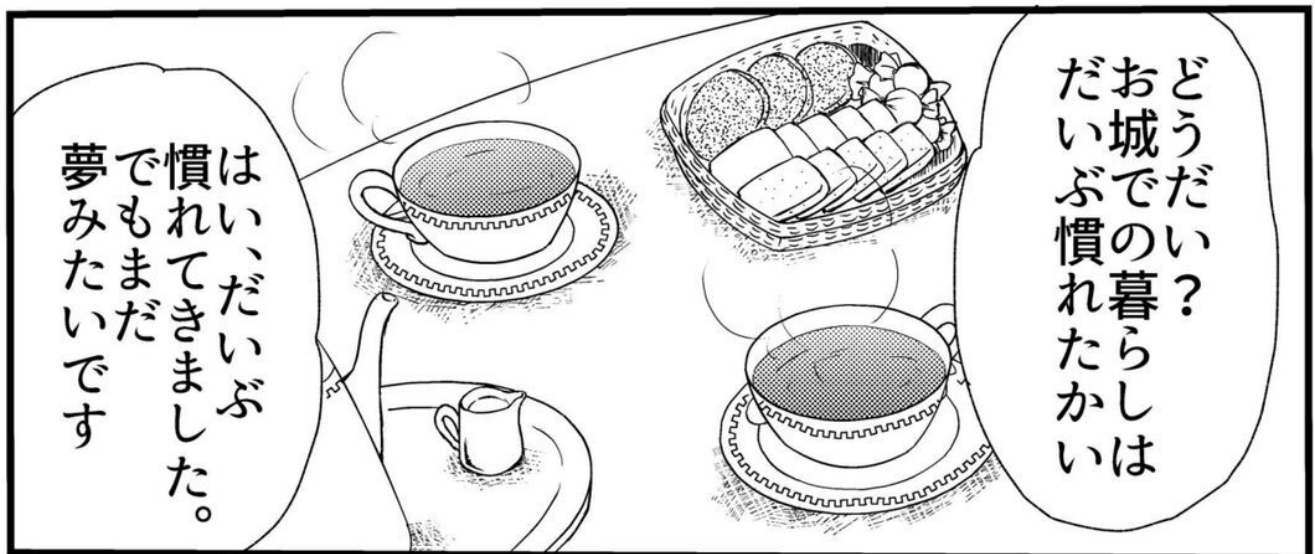
ただ、好き勝手に
料理を
作れなかつた事
は少し寂しかった……



突然呼び出して
すまないね。
まずは掛けてくれ

はあ……

何の御用でしょうか？



どうだい？
お城での暮らしは
だいぶ慣れたかい

はい、だいぶ
慣れてきました。
でもまだ
夢みたいです





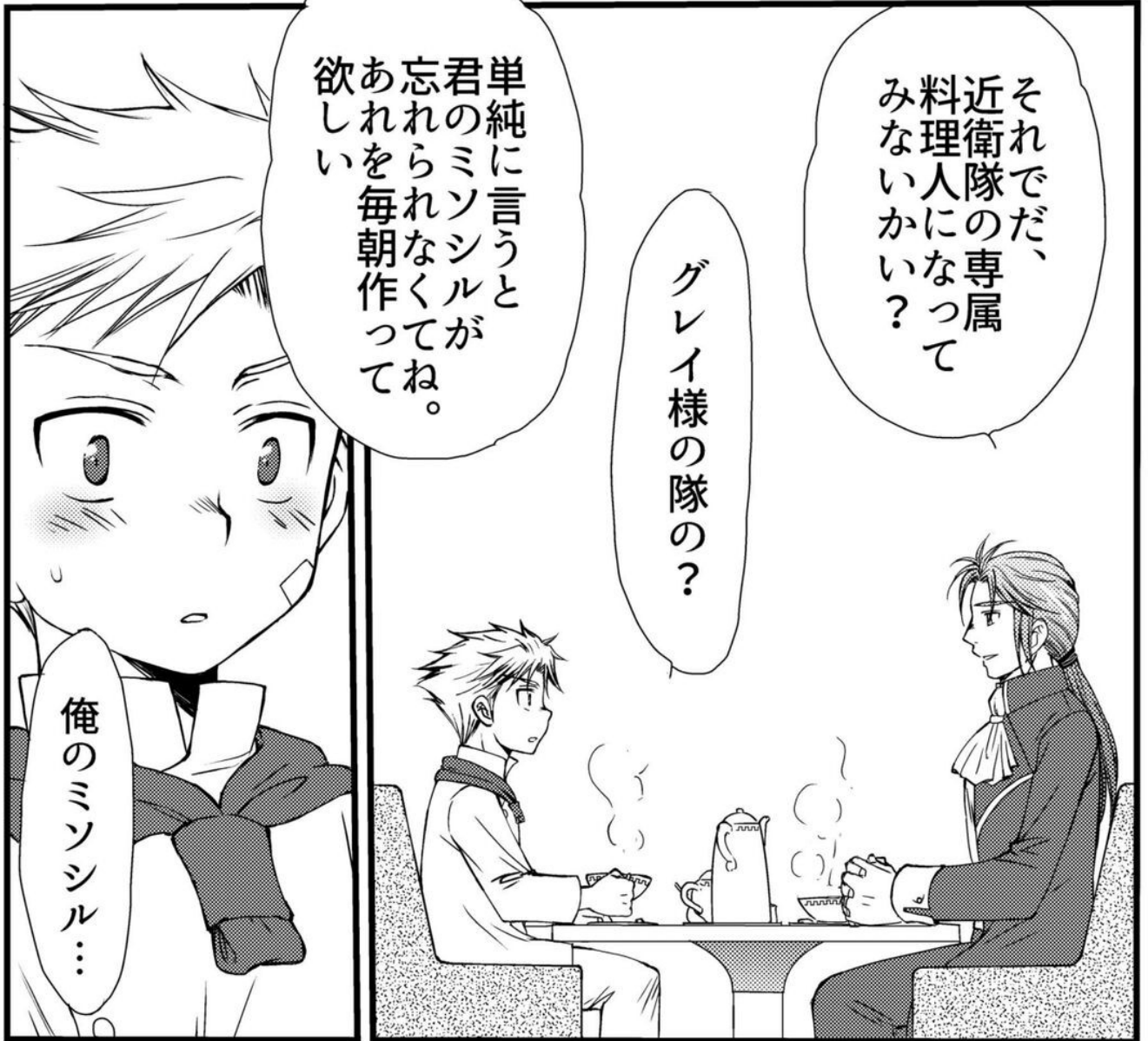
ただ、最近の君は少し寂しそうに見えてね。

城の厨房に連れて来て良かったのか責任を感じてか



寂しそう…

ズキ…



それでだ、近衛隊の専属料理人になってみないかい？

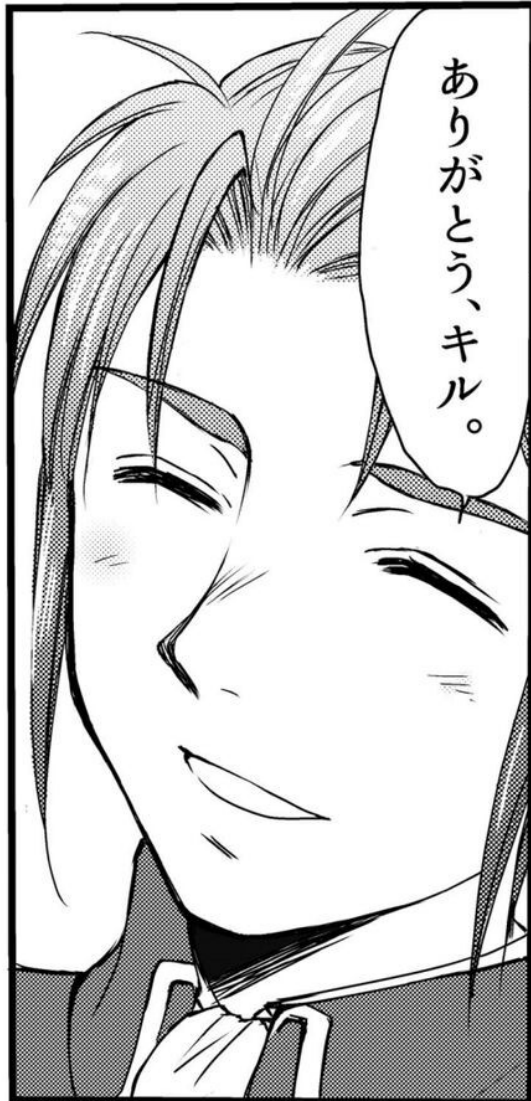
그레이様の隊の？

単純に言うとならぬ君のミソシルが忘れられなくてね。あれを毎朝作って欲しい

俺のミソシル…



トーヨーの料理を…
好きなだけ作れる…



こうして俺は来週から
グレイ様が隊長を務める
近衛隊の食事係になった

それ以外にも執務室の掃除、
グレイ様の執務室の掃除、
雑用なんかもつもらうつもりだ

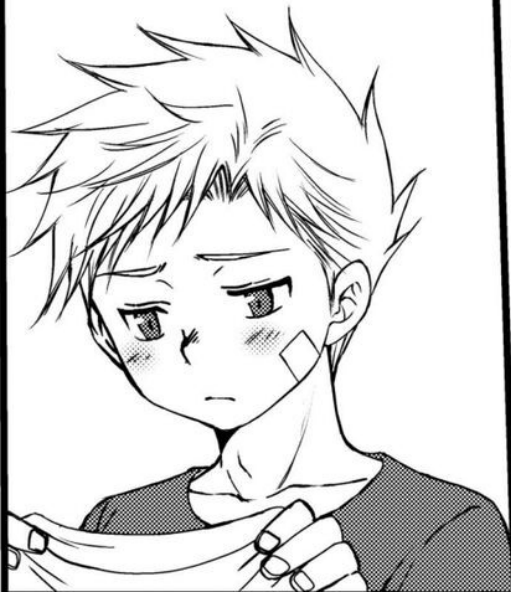
来週それを着て
私の執務室に
来るように



とか言ってたけど
あの制服かい？
近衛隊の制服かい？



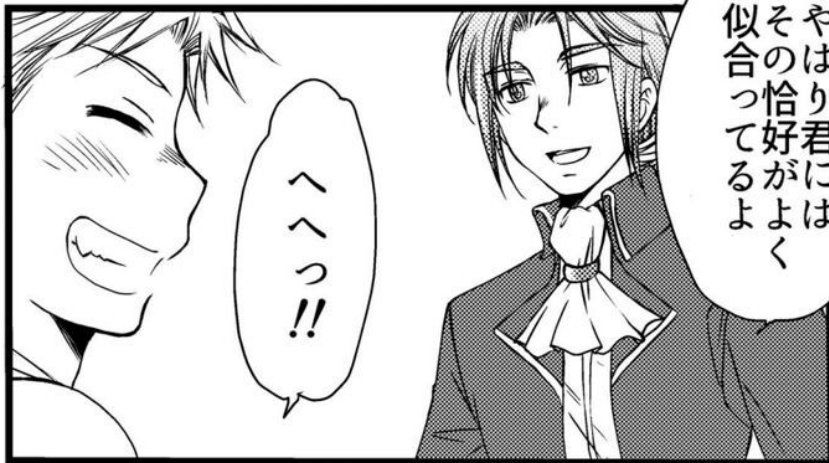
グレイ様は
うしろに
レイナ様
の良き
おどろ
くにして



これ…
キモノ!?



そして俺も
あつては素直に
従うまいかな
何故だろう…



へへっ!!

やはり君にはよく
その恰好がよく
似合ってるよ

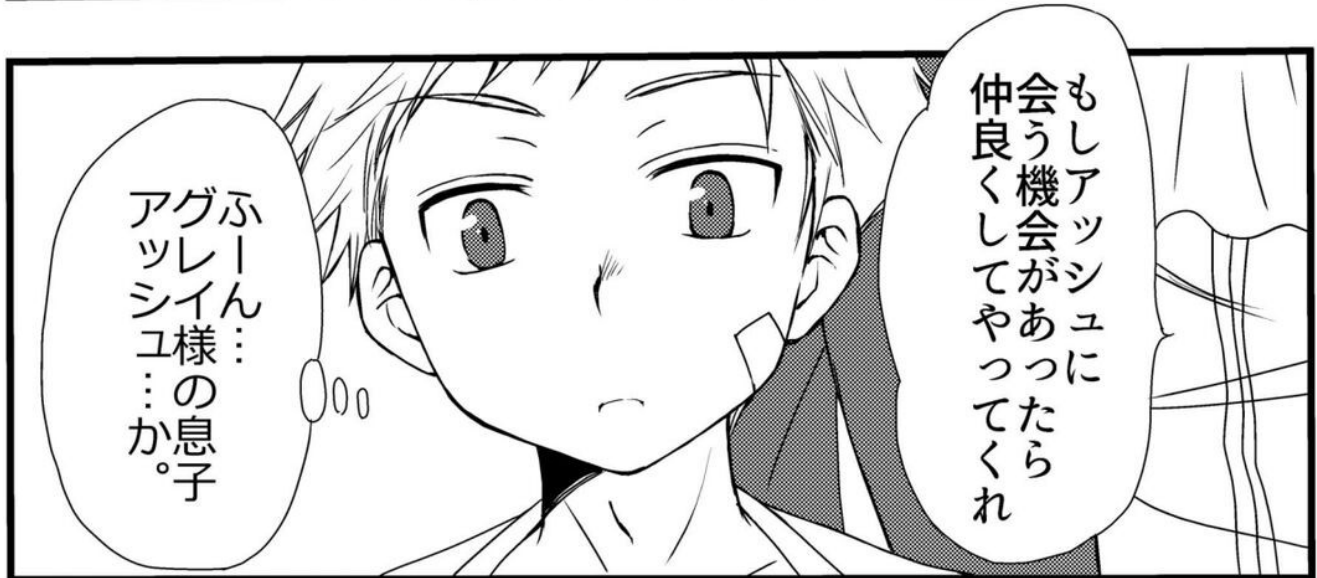
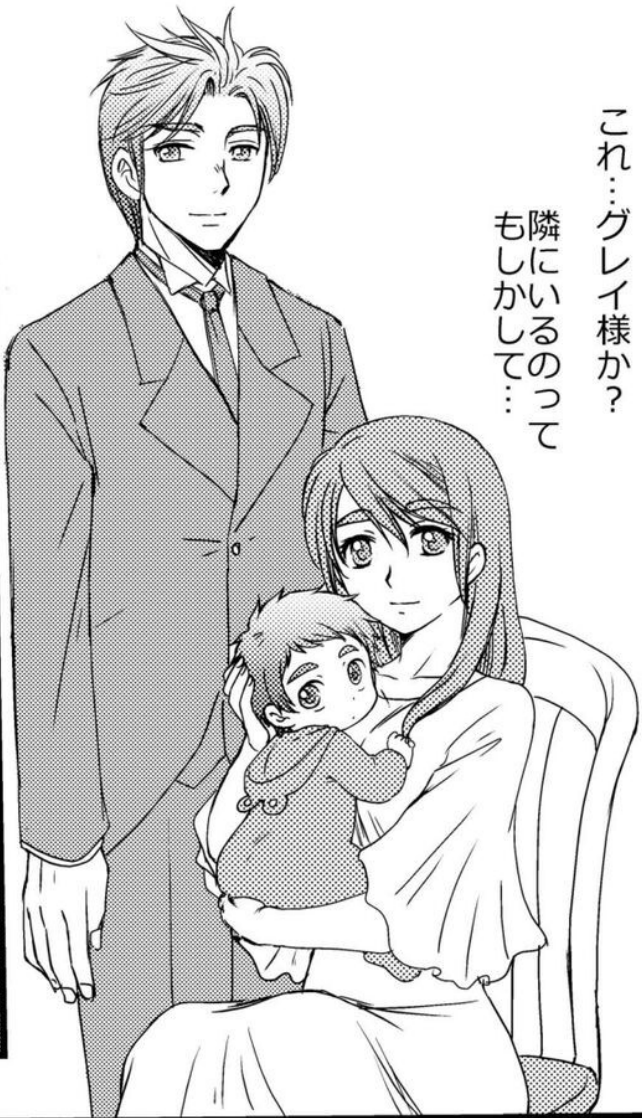


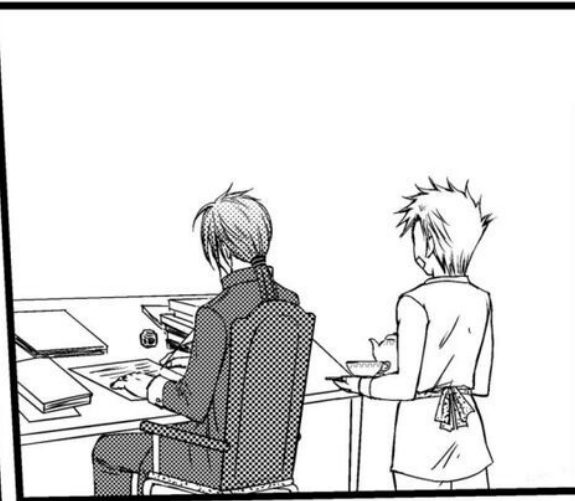
はいっ!!

では、この部屋の
掃除を頼む
私はあっちで
書類整理をしているから
後でお茶も持って来て
おくれ



ん?





グレイ様の側での仕事は
充実感と、不思議な
安らぎがあった

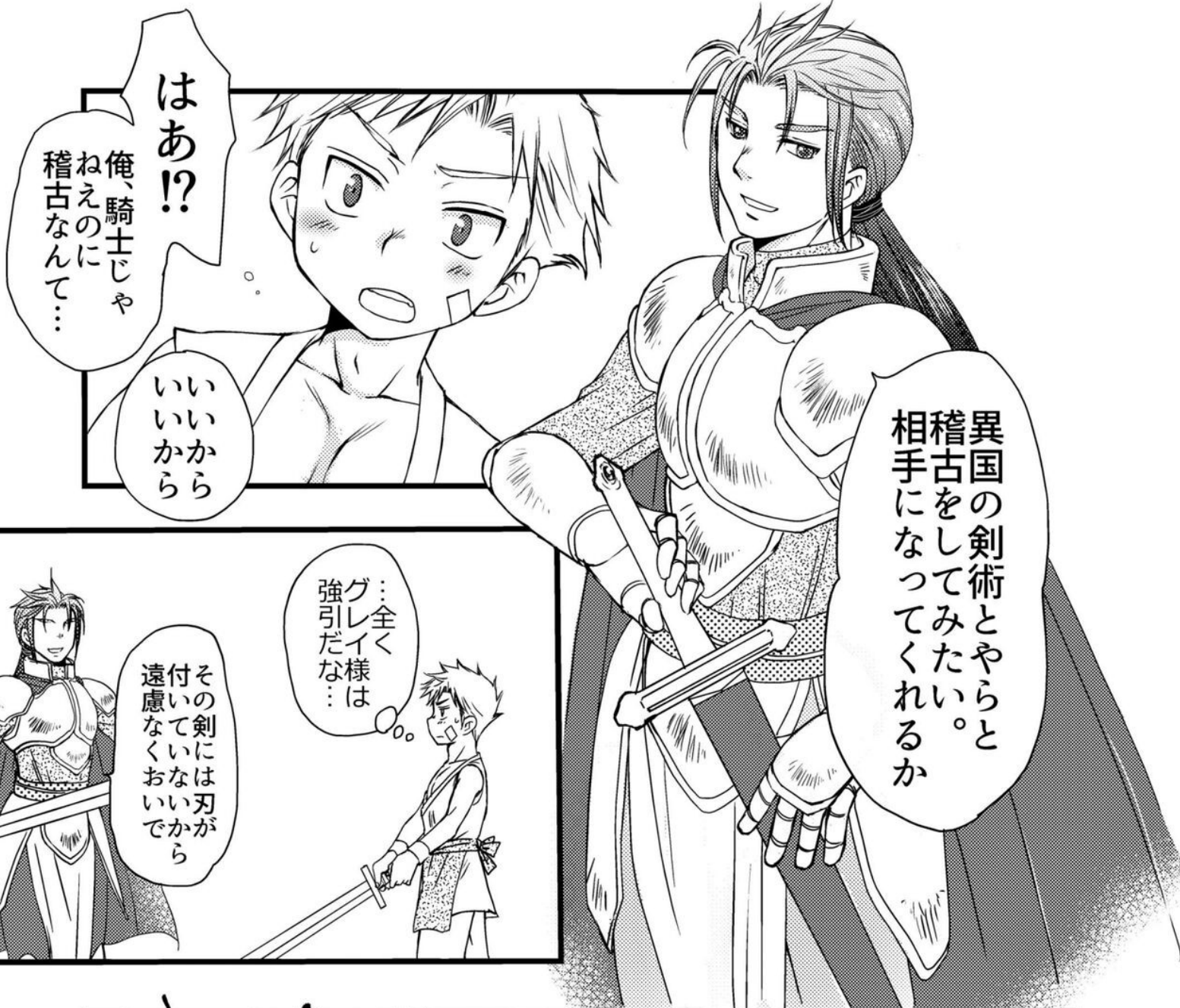
この幸福な生活を
与えてくれた
グレイ様に少しでも
恩返ししたくて、
俺は毎日懸命に働いた



君はトリーの血を引いて
サムライになったか？
剣が気になるかい？

え？あ、まあ…
ちよつとな





はあ!?

俺、騎士じゃ
ねえのに
稽古なんて...

いいから

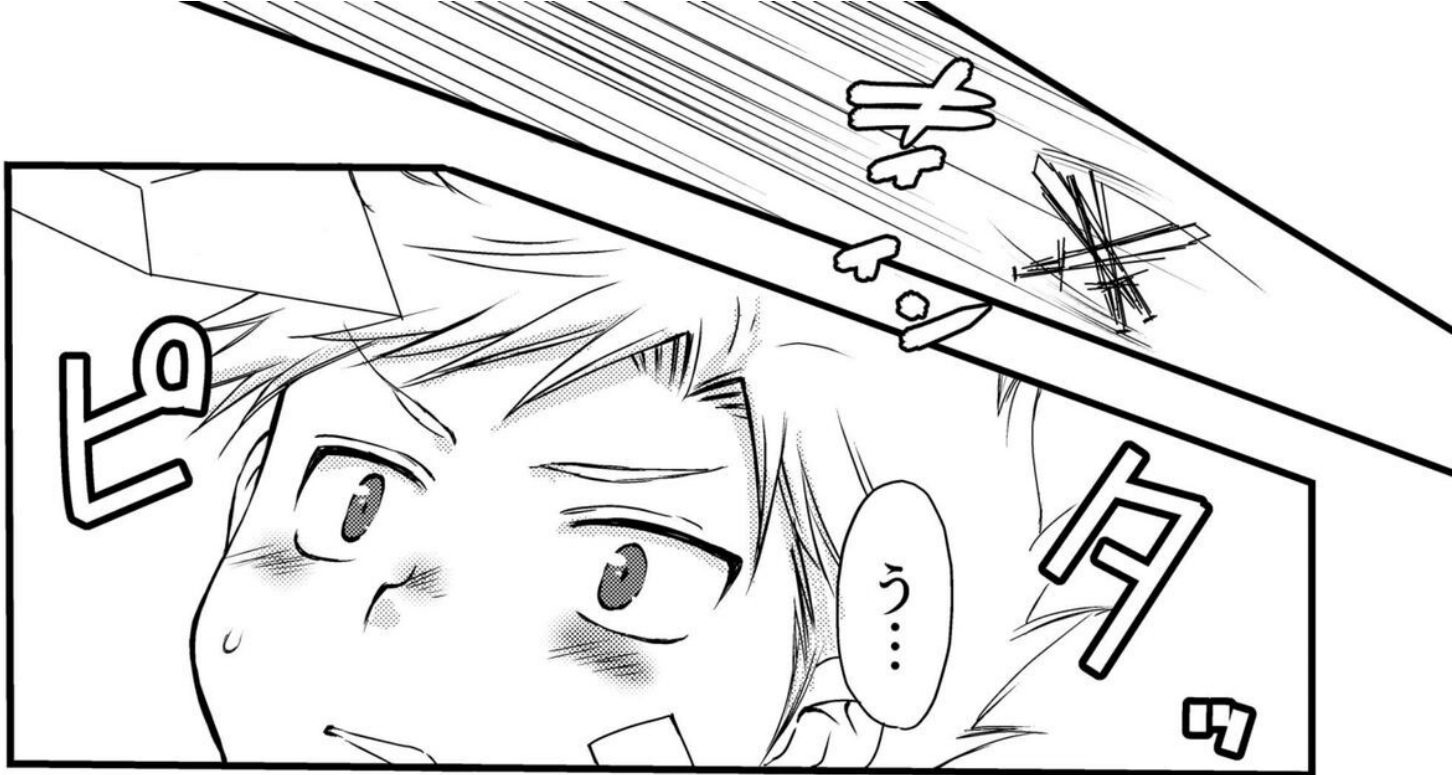
異国の剣術とやらと
稽古を試してみたい。
相手になってくれるか

グレイ様は
強引だな...

その剣には刃が
遠慮なくおいで



はあッ!!



勝った気になんかなよ
ここの国の剣にまだ
慣れてねえだけだからな



グレイ様の剣技...
俺も身につけてみたい、
本音はそう思っていたい

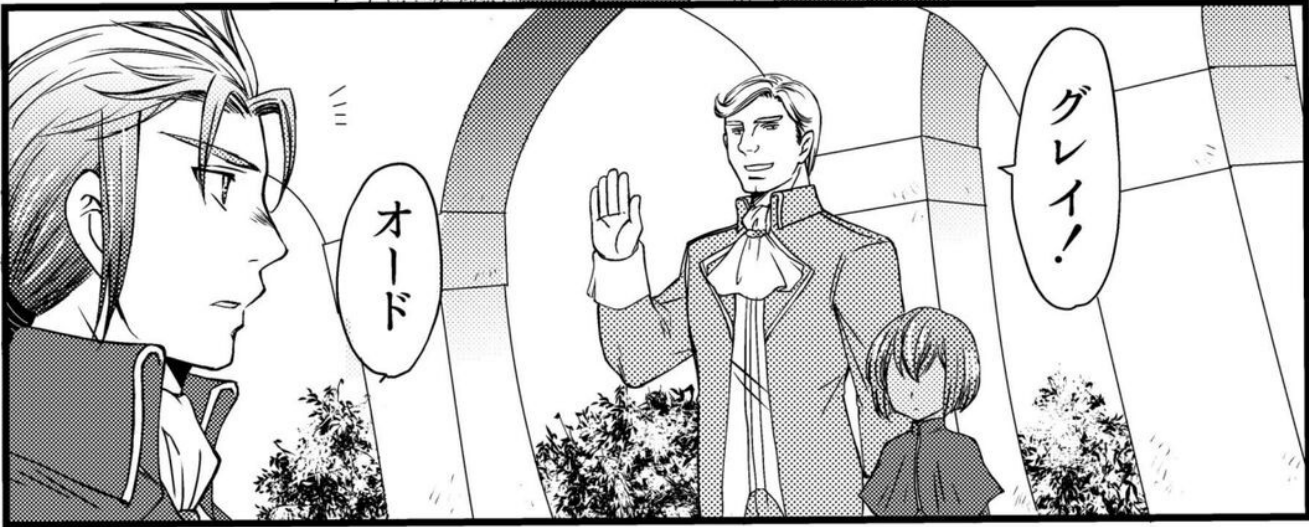
これからもまた
稽古に付き合っ
てくれるかい？

ったりめーだ!!
さっさと慣れて
倍返しにしてやらあ

屋台の料理人だった俺が
ものすごい出世だ…



やがて俺はグレイ様の
正式な付き人に任命され
公務にも同伴するまでに
至っていた



オード

グレイ!



わかりました

キル、じゃあ
備品の整理
から頼むよ

ホントに男か？
女みてえ…



今度オレの付き人となる
コハクだ。お前の付き人から
雑用を教えてやってくれ

オード副隊長の付き人になる
コハクです…
よろしくお願いします



年齢も近く
立場もほぼ
同じ…
俺といふ
打ち解けた
はすぐに

この城に
来た友人と
はこれな
し呼ぶ

コハクの部屋

で、何だ？
相談って

あのね、ぼく
明日から正式に
付き人になるんだ



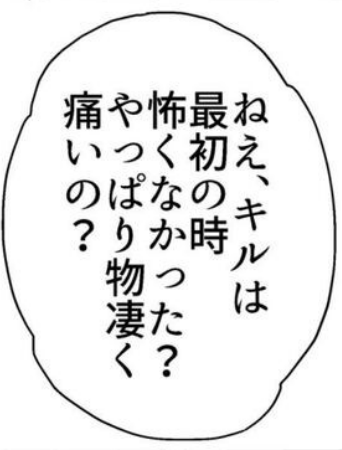
いよいよよか！
頑張れよ！！

うん…でも
自信がないんだ
ちゃんとか
出来るのか…



コハクなら
大丈夫さ！
真面目だからな

ねえ、キルは
最初の時
怖くなかった？
やっぱり物凄く
痛いのか？



は？痛い？お前
オード様の剣の
相手でもすんのか？

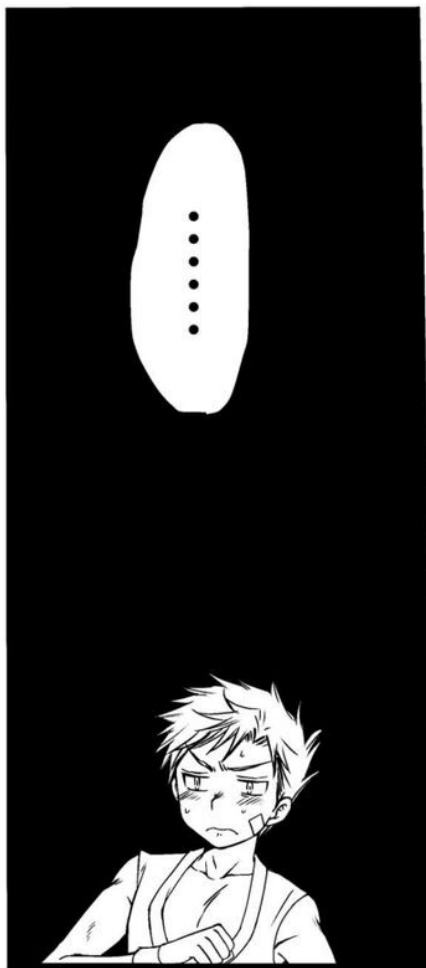
そうじゃなくて…
夜のお勤めの方…

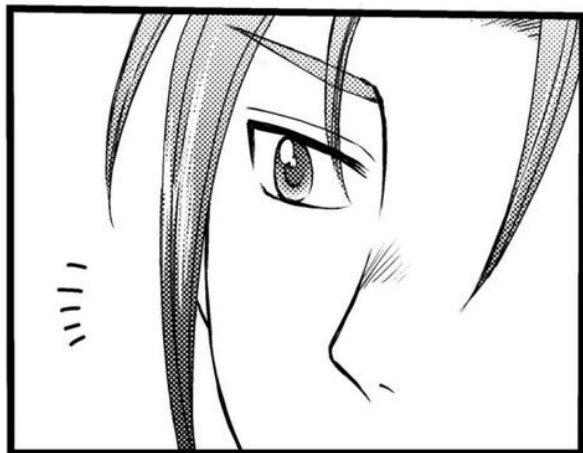
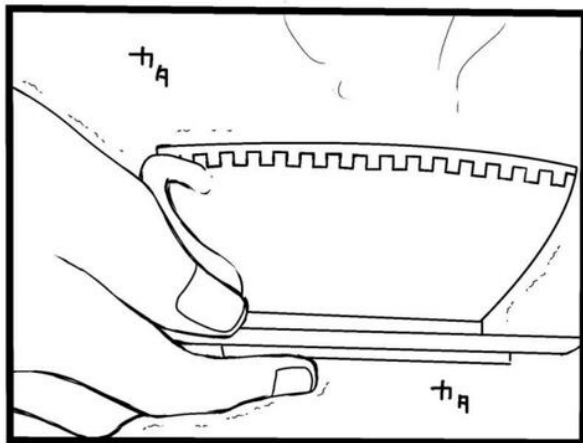
夜のお勤め？

よ、夜伽だよ…
ぼく、セックスなんて
はじめてで…



!!?





具合が悪いのかい？
今夜の湯は他の者に
頼むから、君はもう
休みなさい

大丈夫だ!!
そんなくらい
俺がやる...!!

な、何でも...
何でもねえよ...

どうしたんだい？
何か様子がおかしいよ

クソ...おかしな話を
聞いちゃったせい
グレイ様の顔を
見れねえ...

ダメだ...!!
背中すらマトモに
見れねえ...!!

普段通りに
歩いてりゃ
普通通りだ...

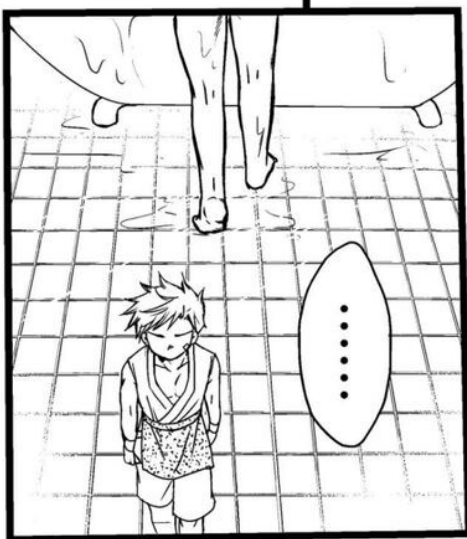
大丈夫だ...
大丈夫です...
背中もやっ
つねえか...



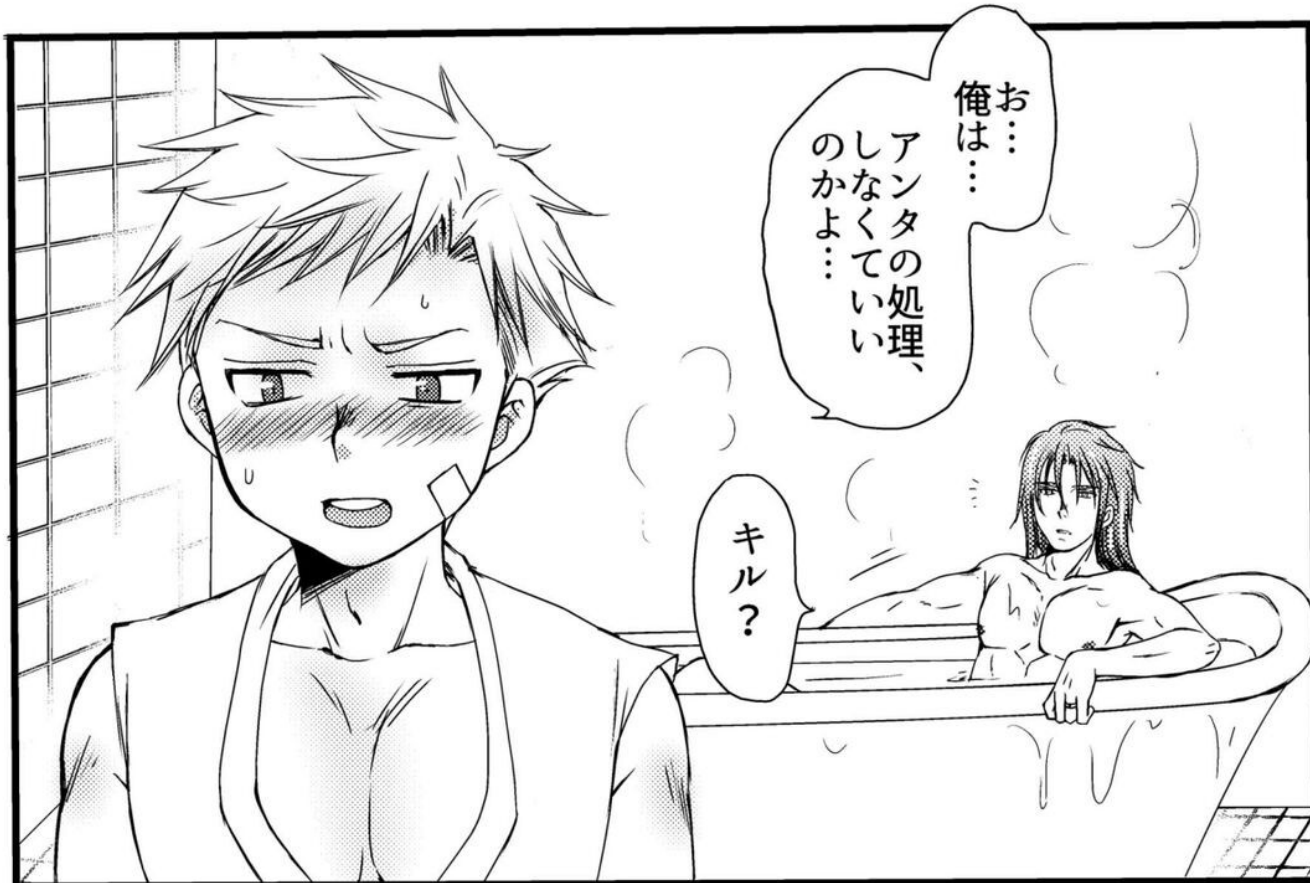


キル：今日はやはりおかしいよ。私はいからもう帰らないさい

はい...

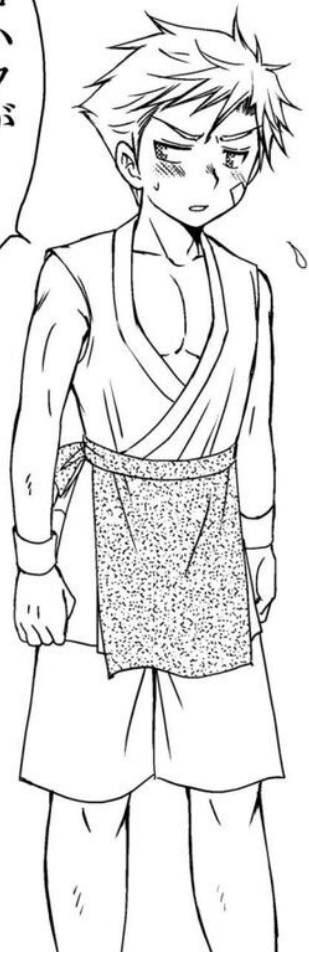
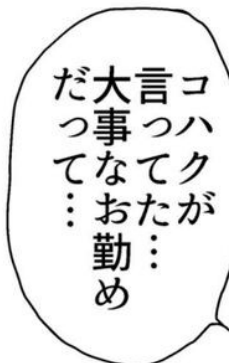


.....



おは：俺は：アンタの処理、のしなくていいのかよ：

キル？





今まで隠して
いた事は謝る

ただ、君には
夜の務めまで
任せる気が
無かったんだ

だから
黙っていた



じゃあ、君は私と
セックスしろと
言われたらする
のかい

ああ、仕事なら
やってやる!!



俺の事、本当は
付き人として
認めてねえって
事なのかよ!?

違う、
そうじゃない…

そんなつもりが
ねえならどうして
俺を付き人に
したんだよ!!





…私は…

仕事だからと君に
不本意な行為を
させて辛い思いを
して欲しくない…

あ…



俺、勢いで
とんでもねえ事
言っちゃまった…



グレイ様は
俺の事を本当
に大切に扱っ
たんだ…



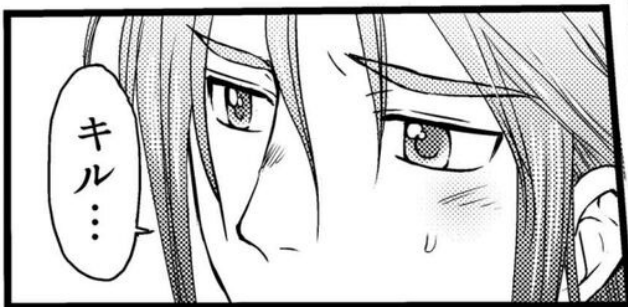
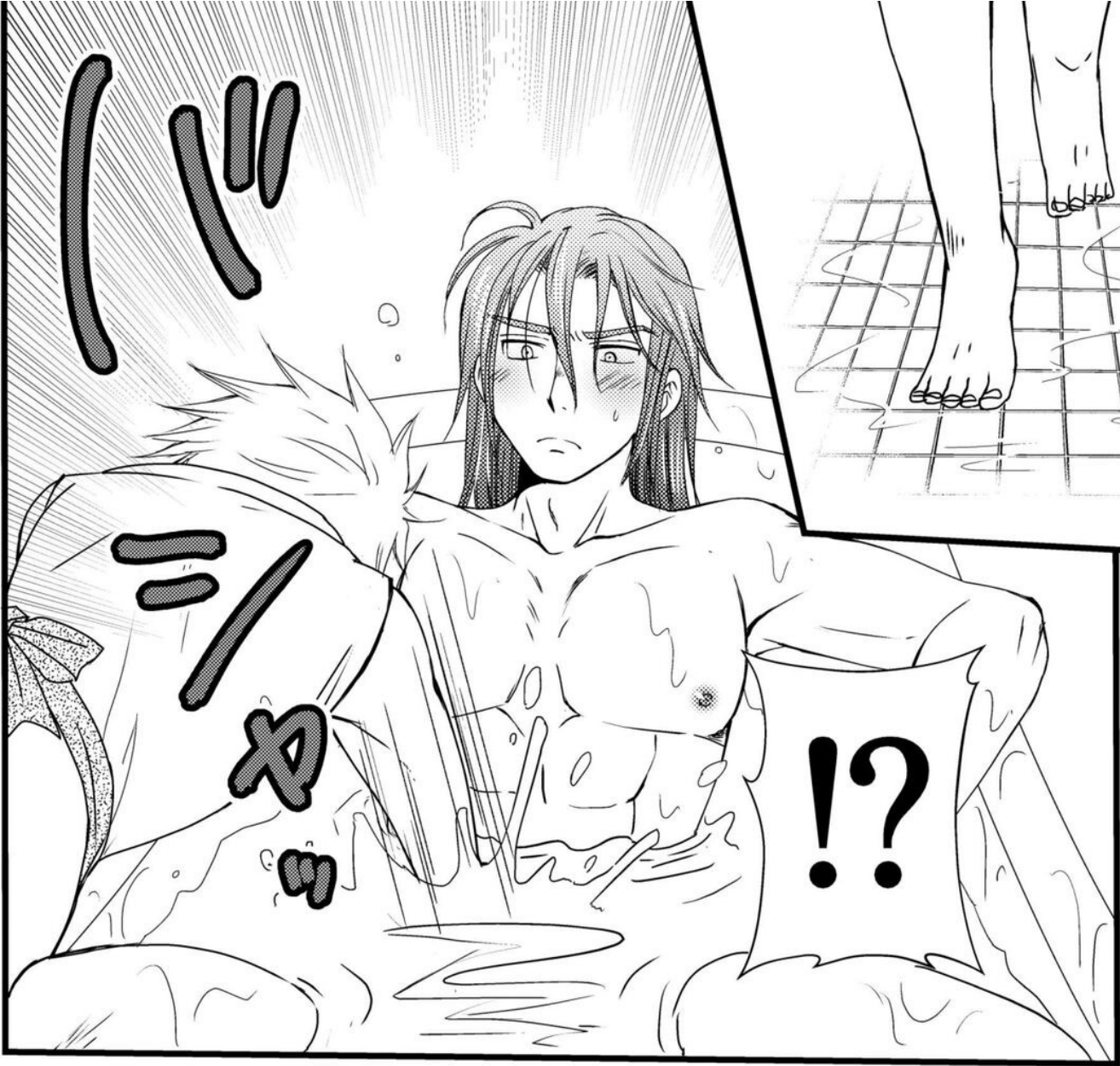
ペニスをしやぶれと
言われても抵抗が
あるだろう？

……

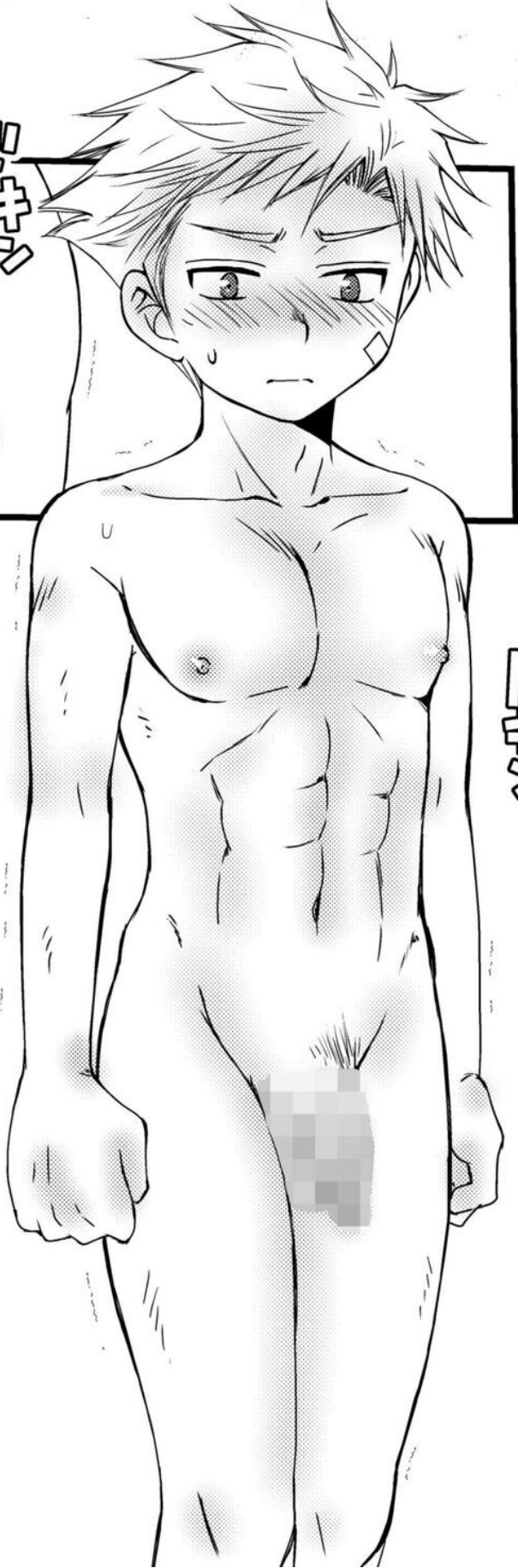
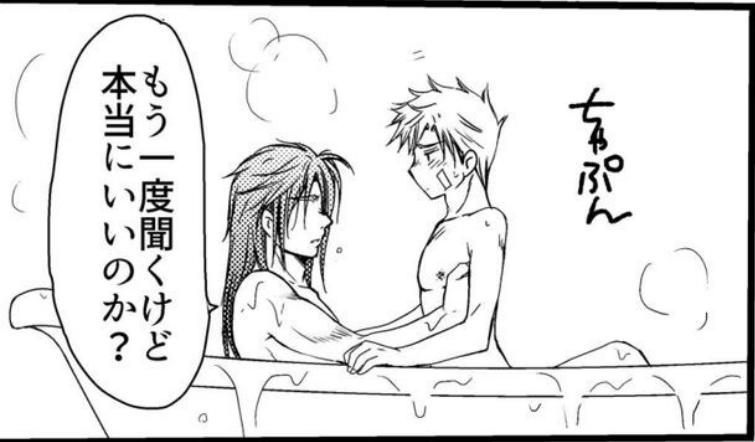


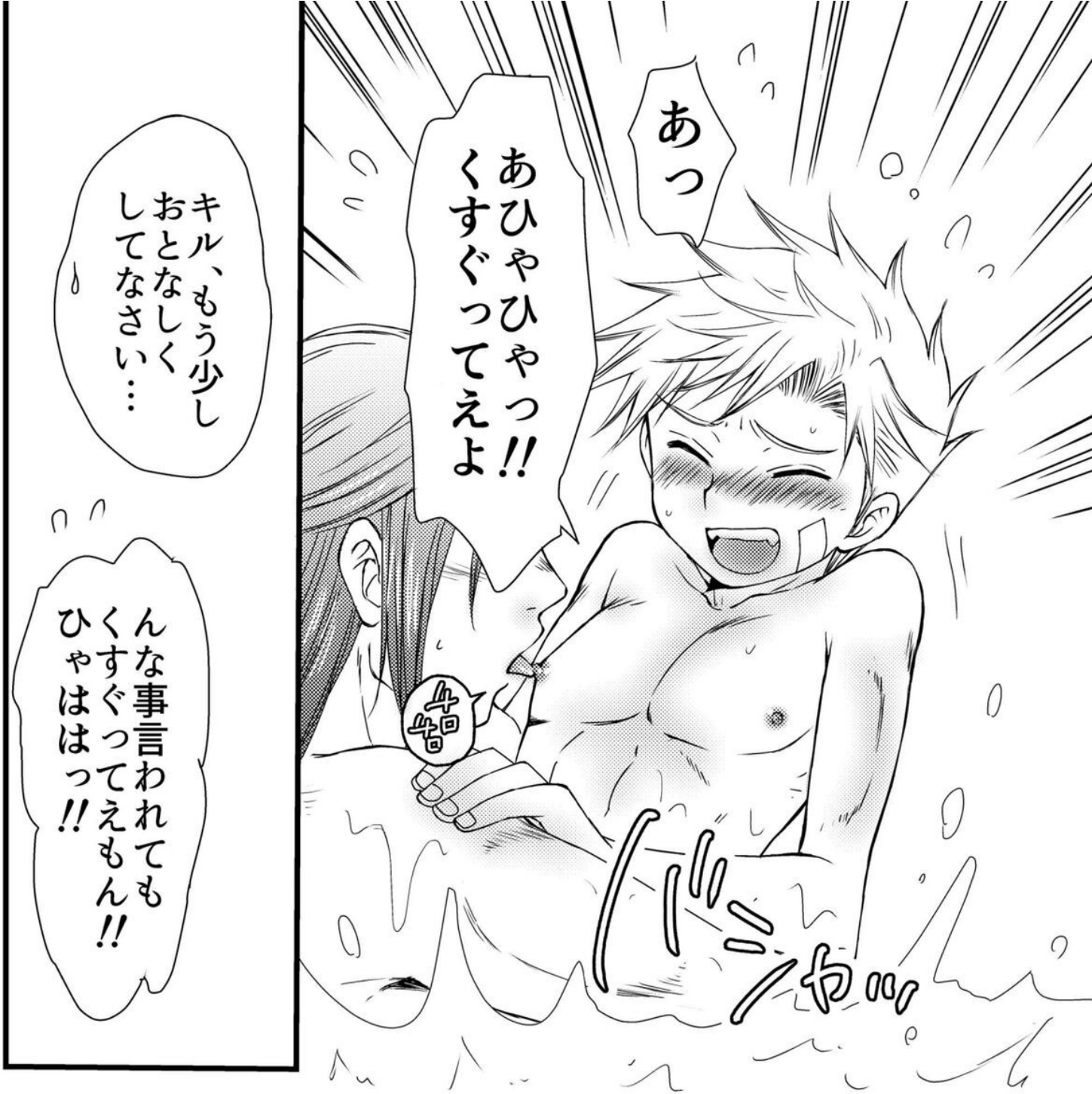
男に抱かれたって
気持ちが悪いだろう？

そんなの…
やってみなきゃ
わかんねえだろ



わかった…
じゃあ、服を脱いでこつちに入っ
ておいで





あつ

あひやひやつ!!
くすぐってえよ

キル、もう少し
おとなしく
してなさい…

んな事言われても
くすぐってえもん!!
ひやははっ!!

わっ



なら…

あつ
んあつ

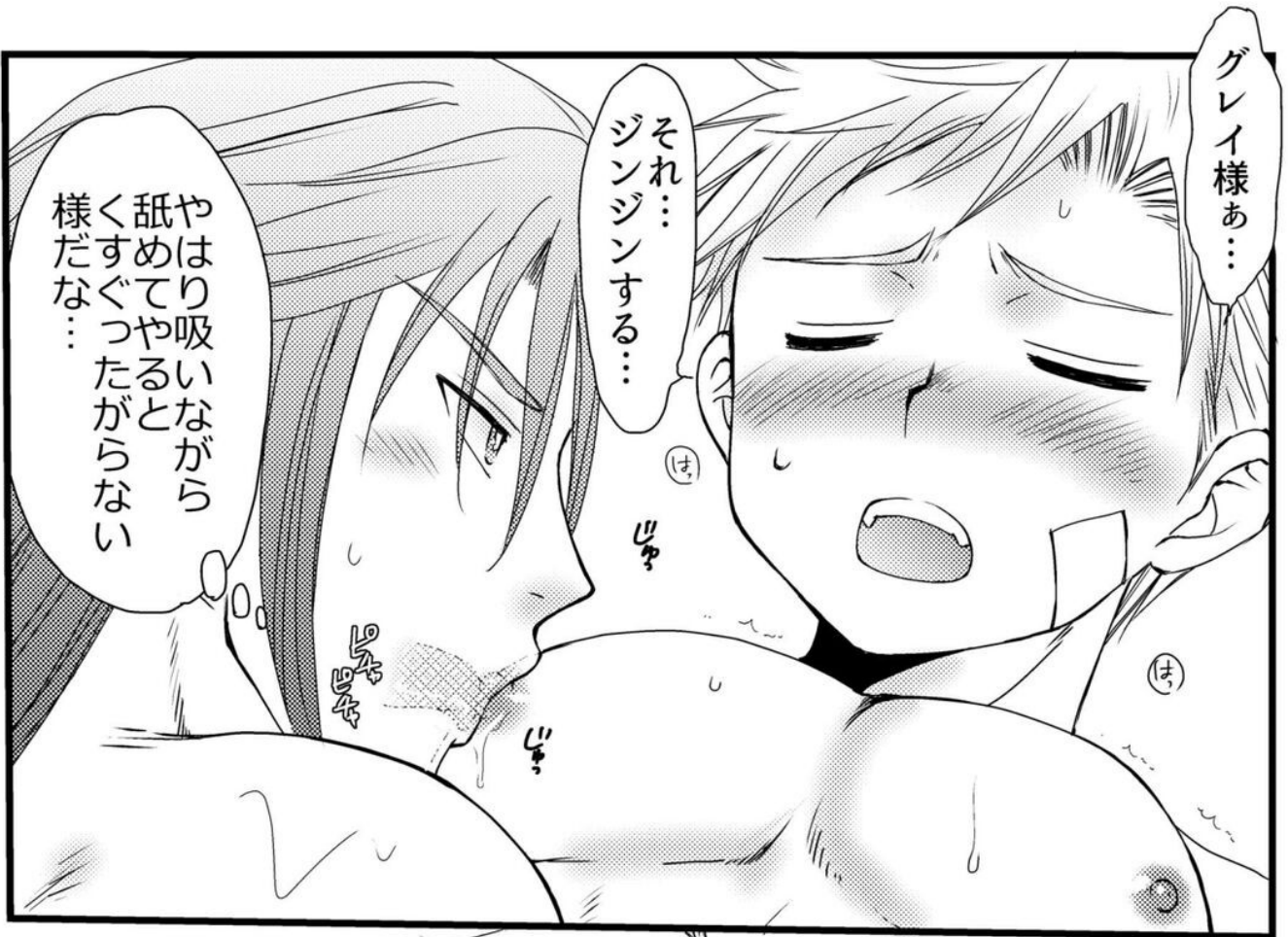


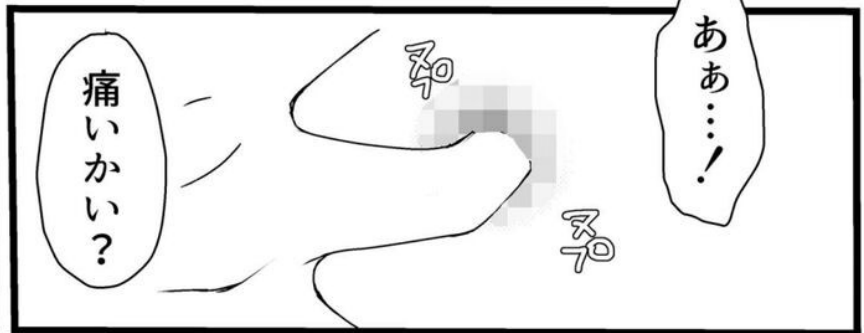
急におに
なれたら
吸わな
感吸なし
じるわ
るの
か
が



全く君は…。
ムードの欠片も
無いじゃないか

…っ!







こここれでいいのかよ……?

ドキッ

ドキッ

ドキッ

ドキッ



ひんっ!?

あゝ



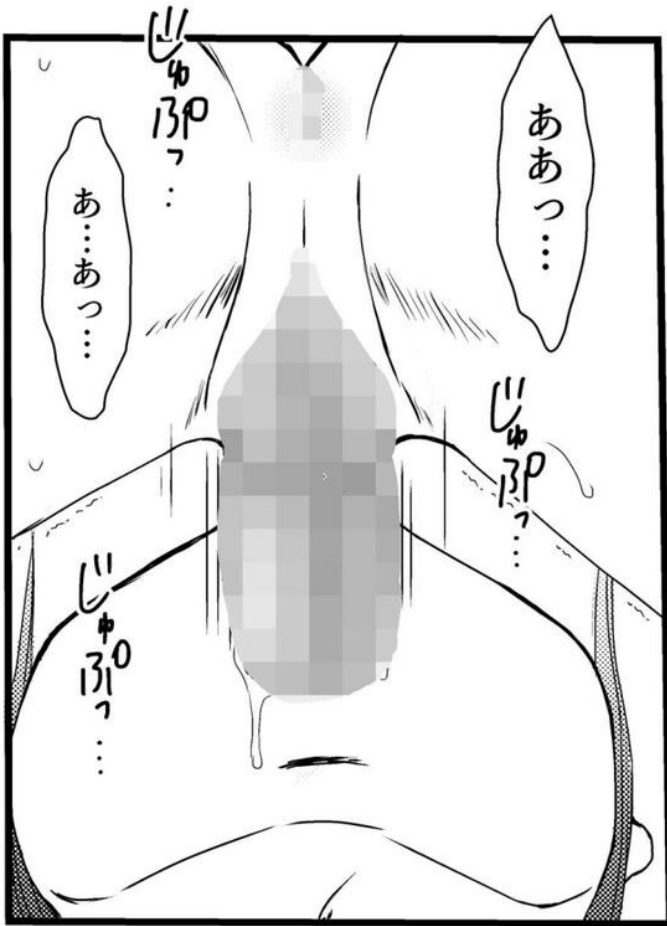
あぁ……!
キルのこんな姿を見られるなんて……

ドキ



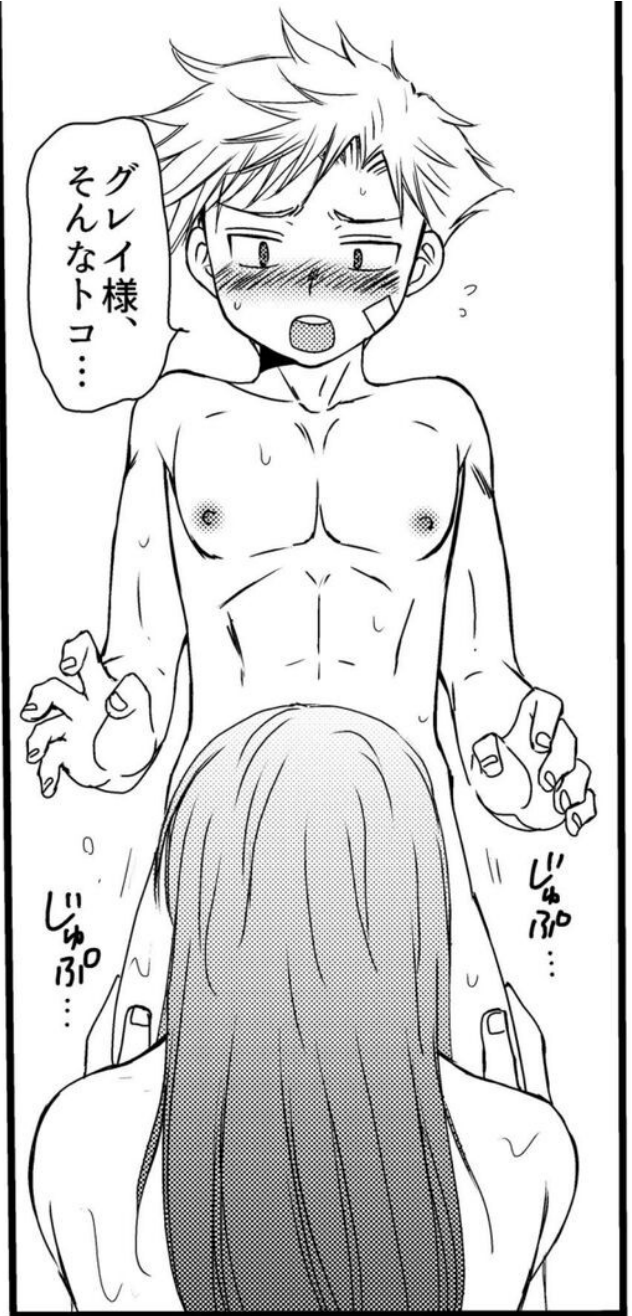
この間近でグレイな勃起の様子を見られる……

ドキ

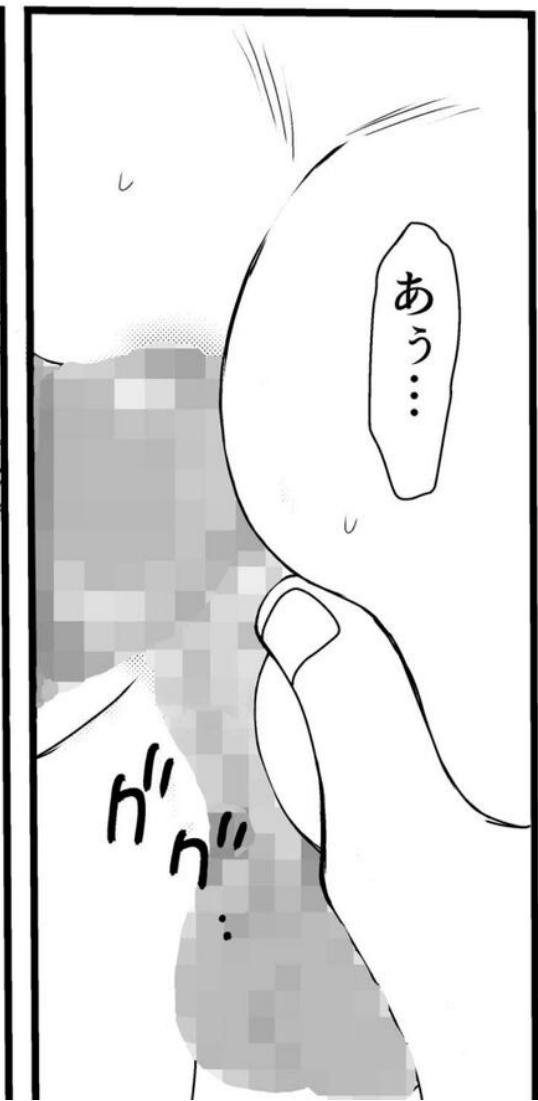


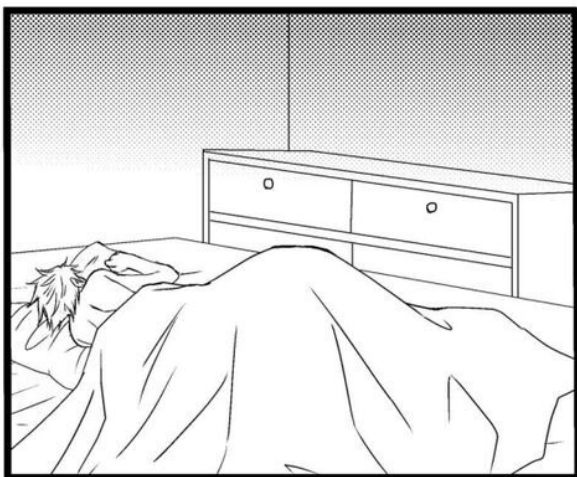
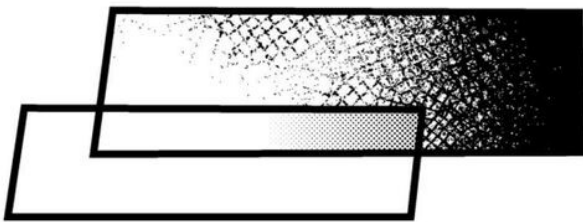
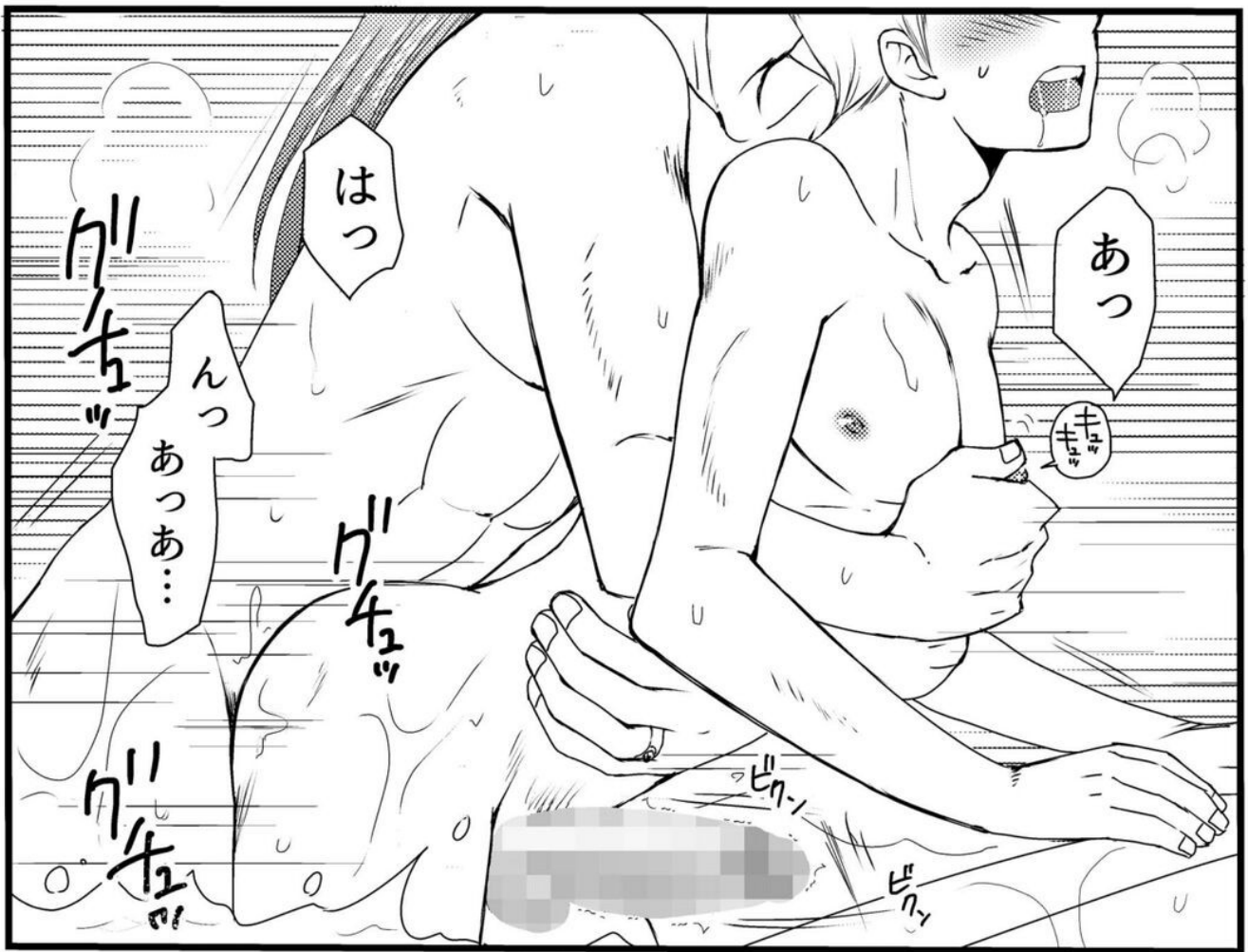
思いつてからさうだろ…

し俺ホグ
たにンレ
かこトイ
つつは様
たいず：
んうっ
だ事と
…











ここ…俺の
部屋じゃねえ…



ん…



キル、おはよう。
よく眠れたかい

ドキッ



グレイ様の寝室?!
あれ、俺、ゆうべ
風呂場でグレイ様と
Hして…それから…?

覚えてねえ!!



グレイ様…
ごめんなさい!!
俺、朝食の支度
やりそびれて…!!



肉体関係の結んでも
俺には付き人の仕事
嫌になる事もなく、
むしろ今までの以上に
充実を感じていた。

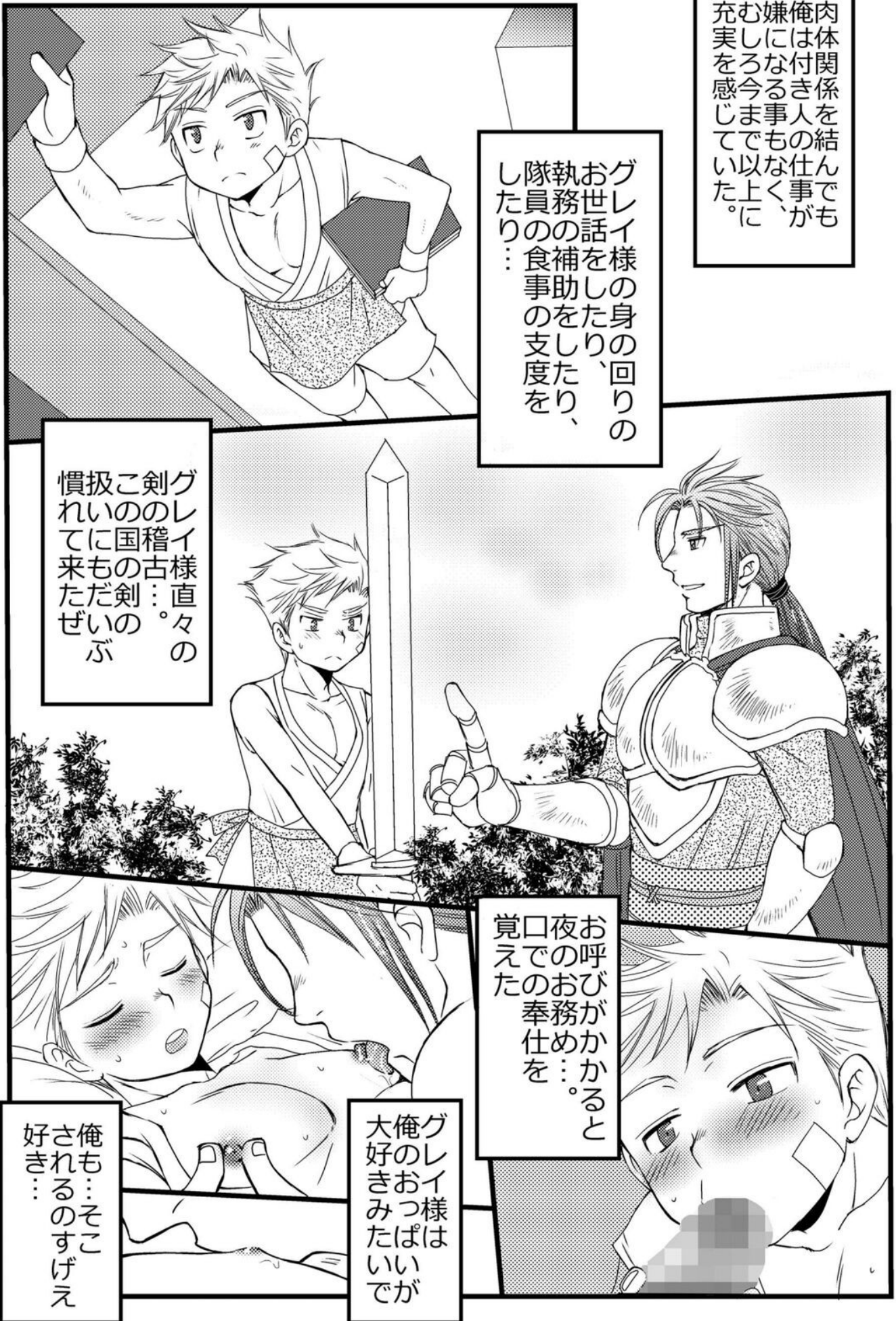
グレイ様の身の回りの
お世話のしつらひ、
執務補助のしつらひ、
隊員の食事の支度を
したり…

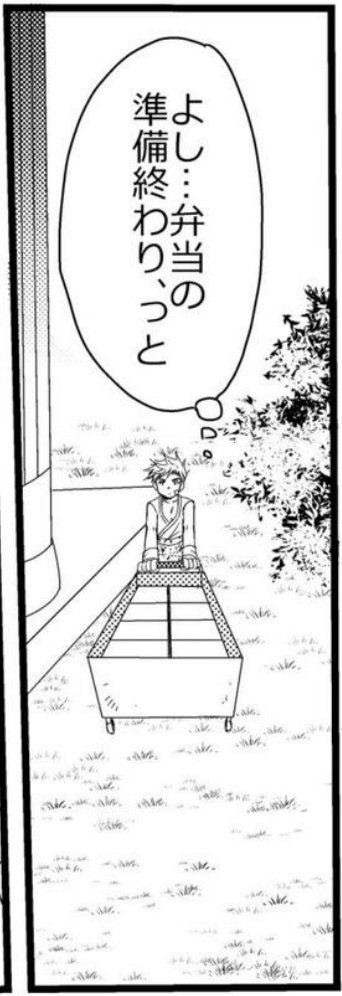
グレイ様の直々の
剣の稽古。の
扱いは、ただの
慣れたものだけ
慣れたものだけ
慣れたものだけ

お呼びがかかる
夜の奉仕を
口で奉仕を
覚えた

グレイ様は
おつきぱい
俺のおつき
大好き

俺もそこ
好き…
好き…
好き…







キル、声が
大きいよ

お、俺はグレイ様と
Hすんの、ちつとも
嫌じゃねえからな!!



コハク…もしかして
夜伽が嫌になつて
逃げちまったのかな？

…それは
あり得るね…



…じゃあ
今夜も
頼むよ

あ…
悪い…



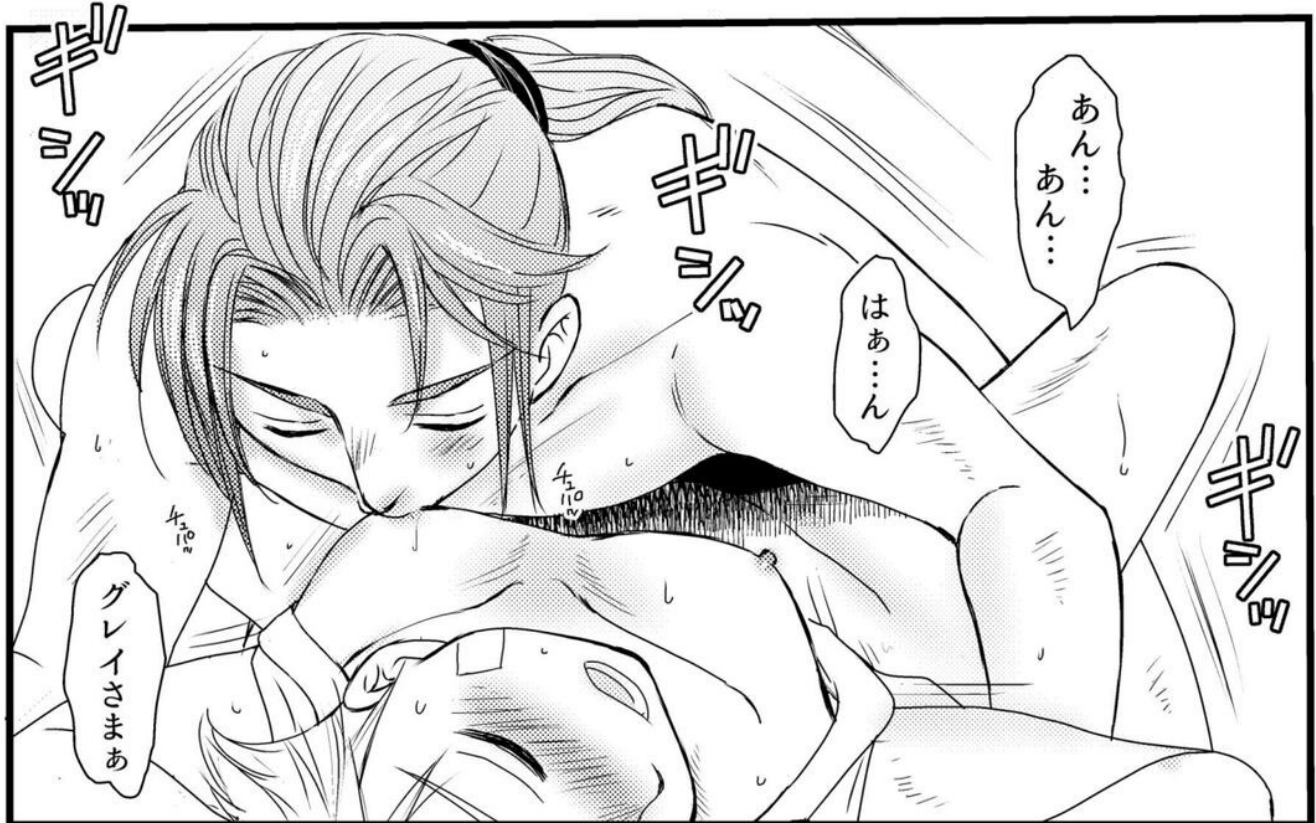
そうだな

びら…



へへっ、その分
これからいっぱい
やりやいいじゃ
ねえか

それにしても
君がこんな夜伽を
あつさり受け入れて
くれるなら、もつと
早く言つておけば
良かったよ…





は、

は、

俺の身体、
いっぱい使っ
てくれよなっ

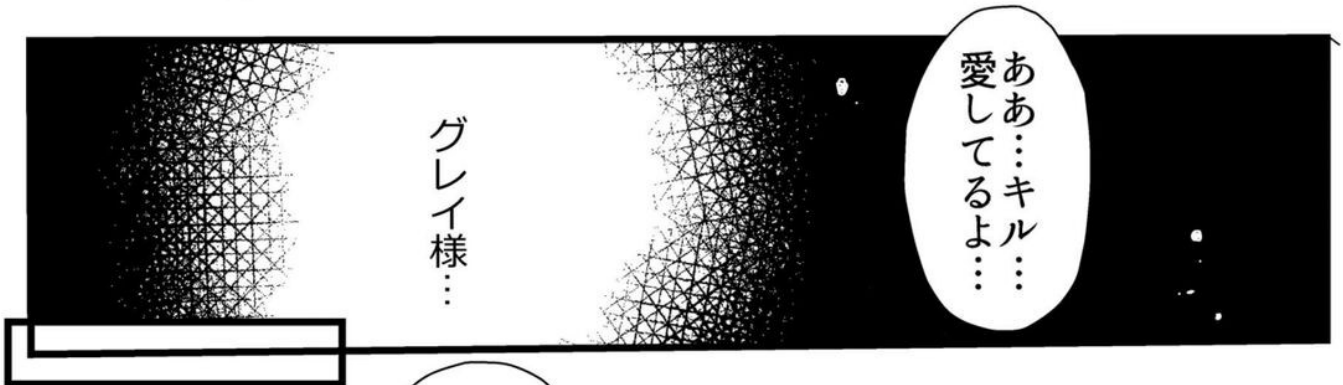
へへっ…♡

ぬ、
る、
る

キル、最高に
気持ちいいよ…

ぬ、
る、
る

ぬ、
る、
る



ああ…キル…
愛してるよ…

グレイ様…



はは…参ったな

何言ってるんだよ、
久しぶりに家に
帰れるんだろ！
ピシツとキメなきや



ちよつと
派手じゃないかい？



わかった、何とかする。
お前の処罰は後日
考えよう。下がっていいぞ



は…はいっ…
失礼致します…!!

そんなの
オード様に
任せりゃ
いいのに…

私の担当だからね



さて、急いで
こいつを
片付けよう。
キル、お茶を頼む

はあい

すまないね。
本当なら君も
今日から休暇
だったのに…

いいって
いいって。

グレイ様の
お世話が俺の
仕事だし!!



なあなあ、
何か俺にも
手伝えそうな所
あるか？

二人でやれば
早く終わるだろ？





では、遠慮なく
お願いしようかな

右下の欄に
隊長印を押して
もらえるかい

わかった!!



まあ、休みが一日
短くなったのは
申し訳ないけれど
明日には帰れるから



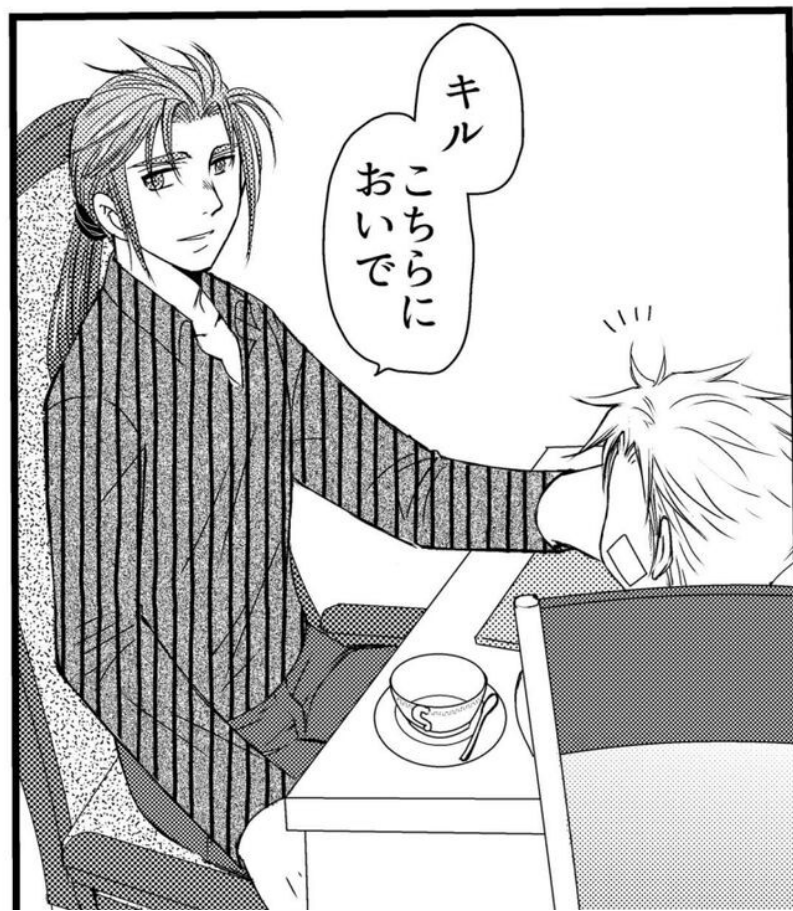
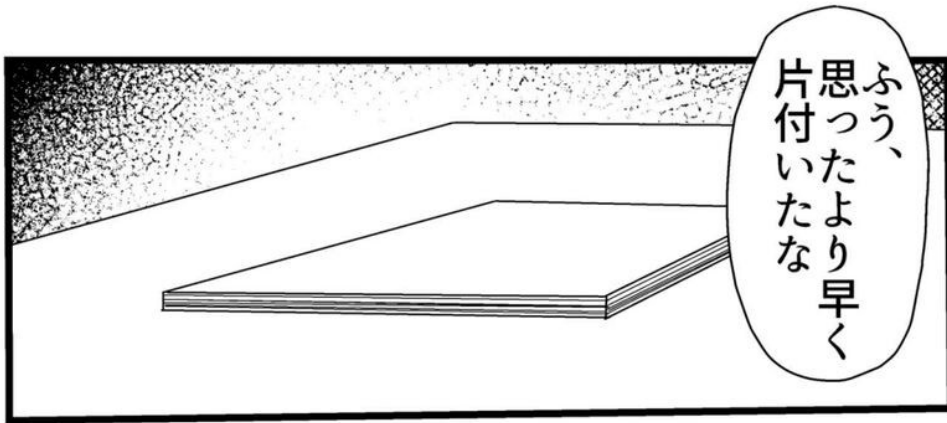
グレイ様の家族、
今頃がっかりな
してるだろうな

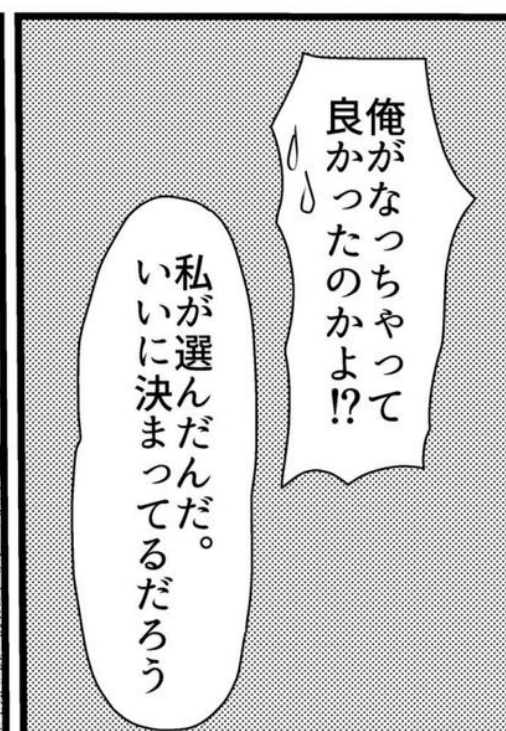
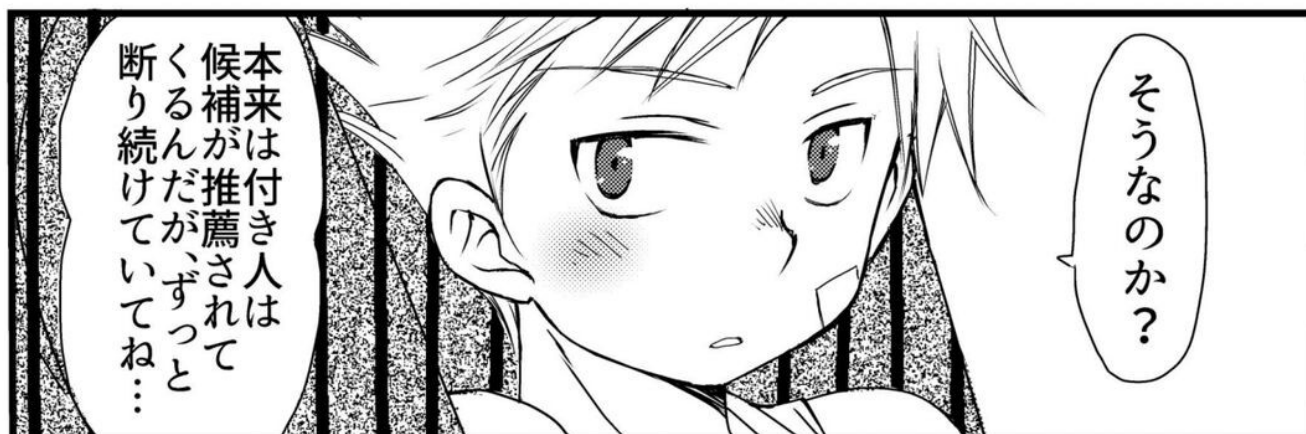
近衛隊の隊長って
大変だよな…

お城や街の警備、
剣の稽古、演習、
政治家や貴族との公務、
隊員の管理…

家に帰れるのは
数ヶ月に一度、
立场上風俗禁止。

そりゃ付き人と
セックスするくらいしか
ガス抜き出来ねーよな…





付き人に決める際に、何も
知らない天真爛漫な君に
夜伽の事を言うべきか
散々悩んだよ

グレイ様
グレイ様

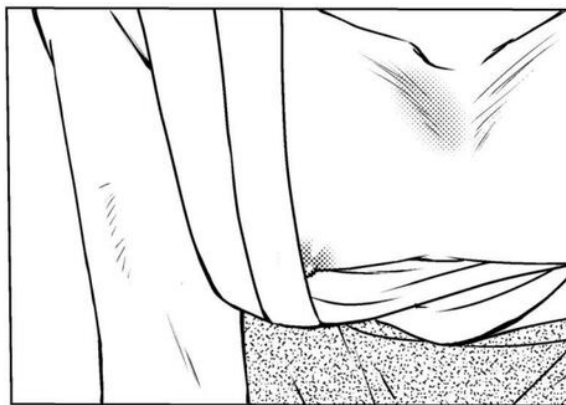
知ってしまえばきつと
私の元を去ってしまう…
そう思っていた



汚らしい男だろう。
幻滅したかい？

慰め…？
オナニーって事か？

夜伽の事は、
黙つていよう、
そう決めた代わり
無防備な君の姿を
思い出しながら
自分を慰めていた



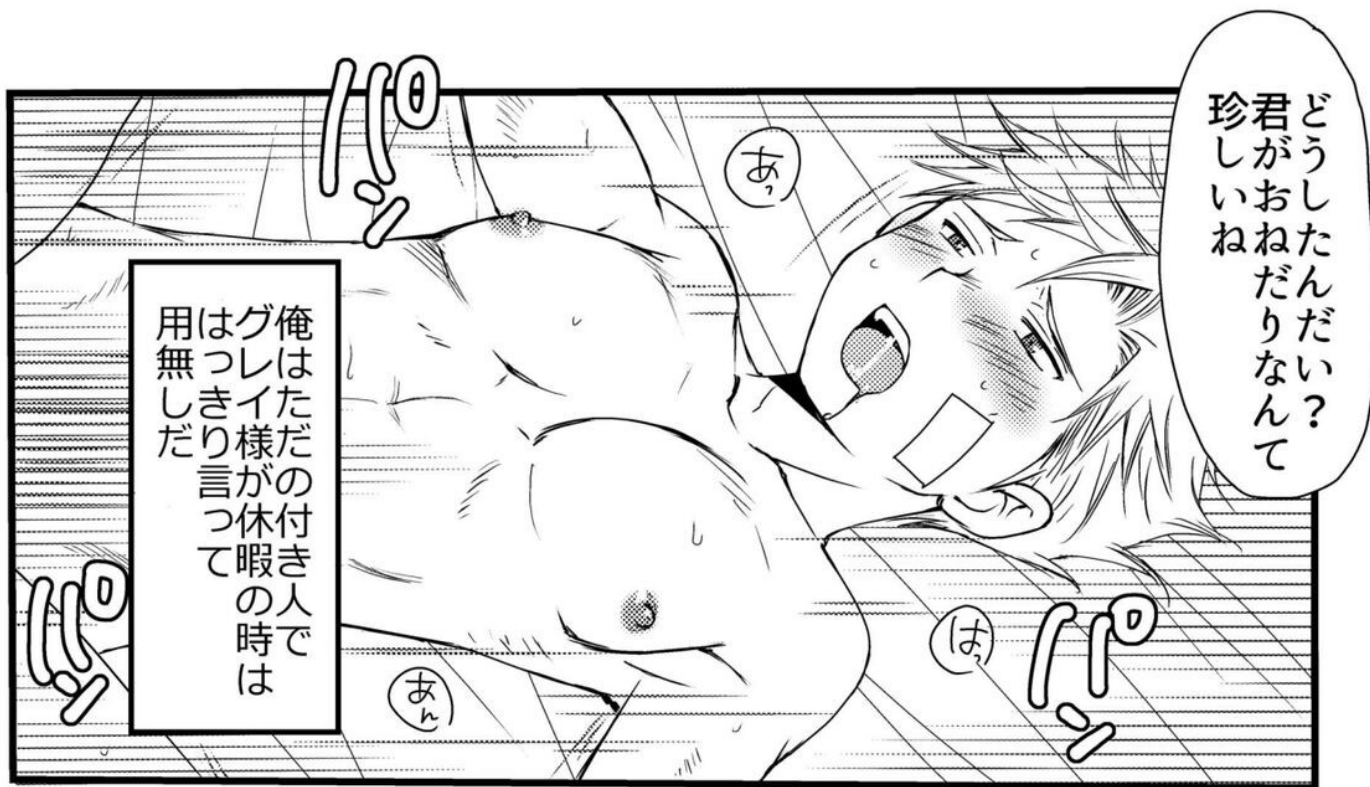
そんな事…
あつ…



君の肌に直接
触られるなんて
あの頃は考えられ
なかつたよ







俺はただの付き人では
グレイ様が休みの時は
はつきり言ってます
用無しだ

どうしたんだい?
君がおねだりなんて
珍しいね

セックスのガス抜きて
隊長のガス抜きで、
恋人ももねえ
なんでもねえ

グレイ様は俺の事
愛してるって
言ってるけれど
奥さんや子供への
愛情には到底
敵わないだろ
う…

仕事なんだし
仕事中で構わない
と思っただけ
でいいよ



グレイ様あ…!
まだ、離れないで…

ああ…俺は…



あ…はあ…

どうしてこんな
寂しくてモヤモヤ
するんだろう…



今夜は
キルの気が
済むまで
側にいるよ

俺はこんなにも
グレイ様の事が
好きだったんだ…



あつ?!
まだ明日の
お召し物決
まらなかった!!

明日
起きてからで
いいよ



グレイ様、あのさ
お土産だけだよ
俺、グレイ様がいい!

私? はは、
そんなの
いいかい

いーんだよ!!
買い物する手
間省けるだろー!

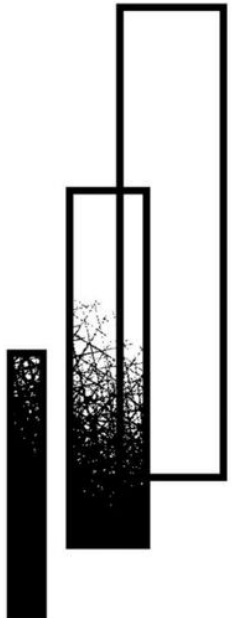


疲れたらう?
今日はもう
お休み

うん

おやすみ
グレイ様

グレイ様……。





グレイ様!!
この鐘なに!?

賊が侵入した
ようだ。私は王の
警護に向かう



な...なんだあ
非常鐘!?



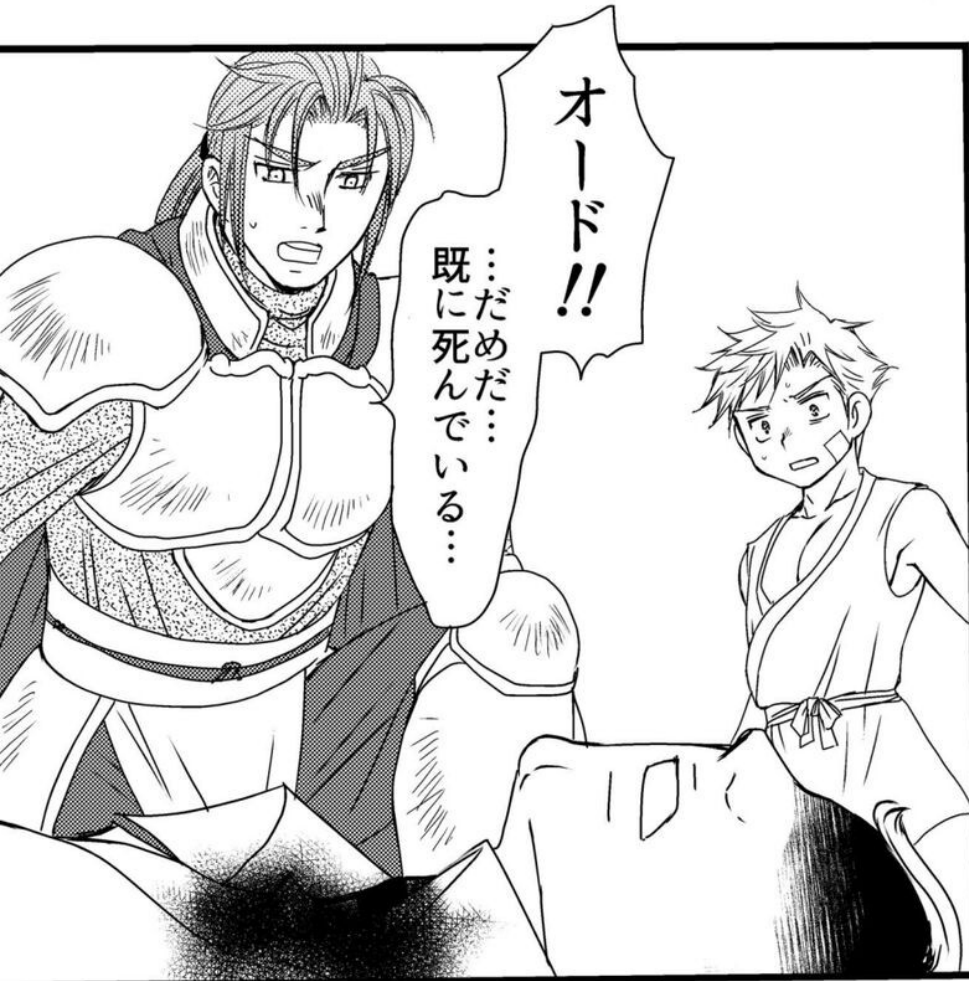
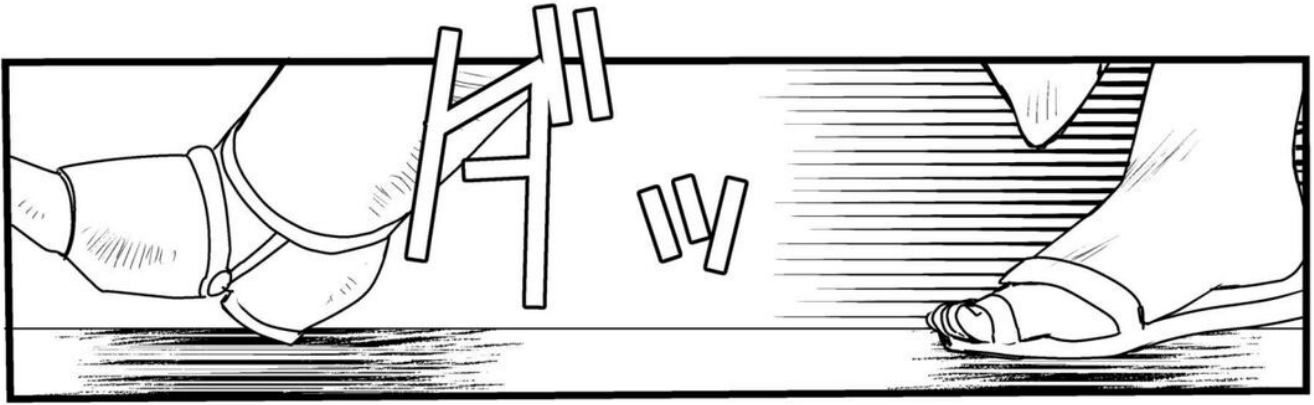
俺の腕前
知ってんだろ!!!
大丈夫だつて!!!

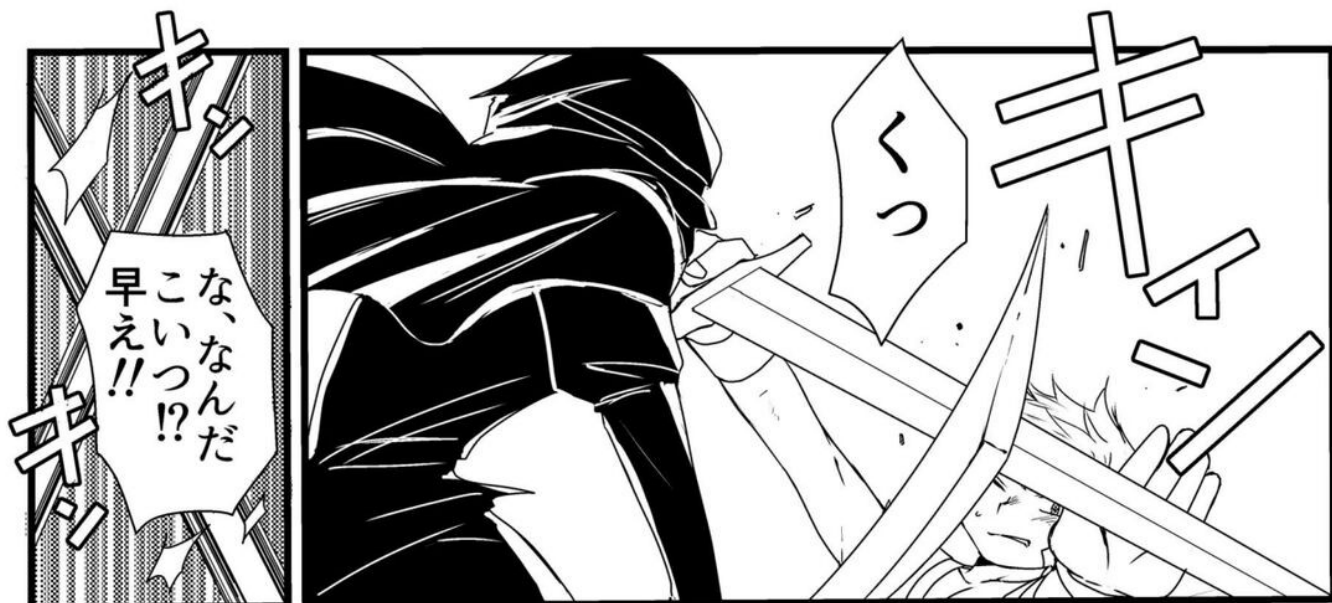
...わかった。では
この剣を使え



俺も行く!!

しかしそんな
薄着では...

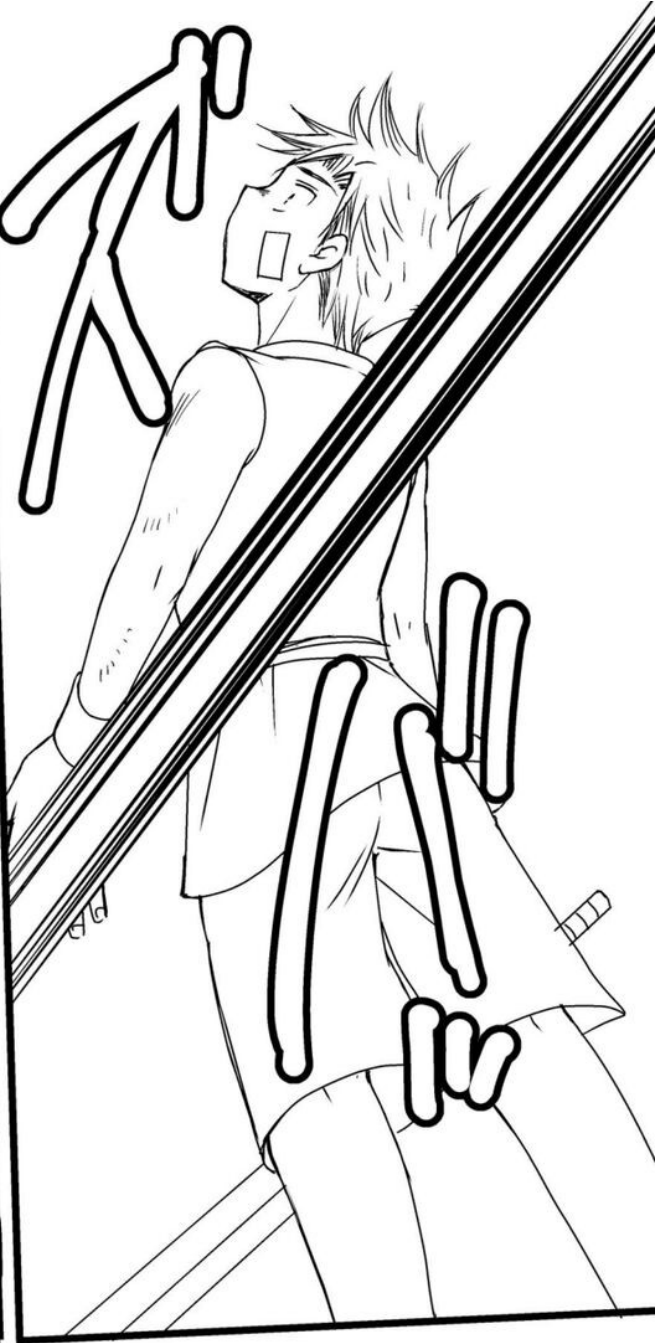








かはっ…



俺と
した事が…

くそ…
残ったのか…
やまだつたのか…

ヤッ

ヤラン

クッ



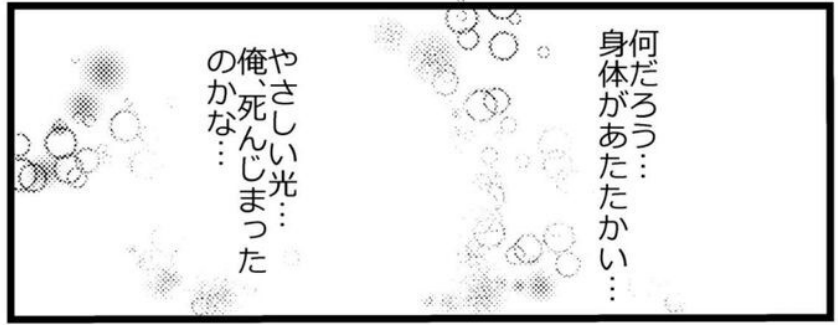
グレイ様…。

グレイ様…
役にたてなくて
すまねえ…



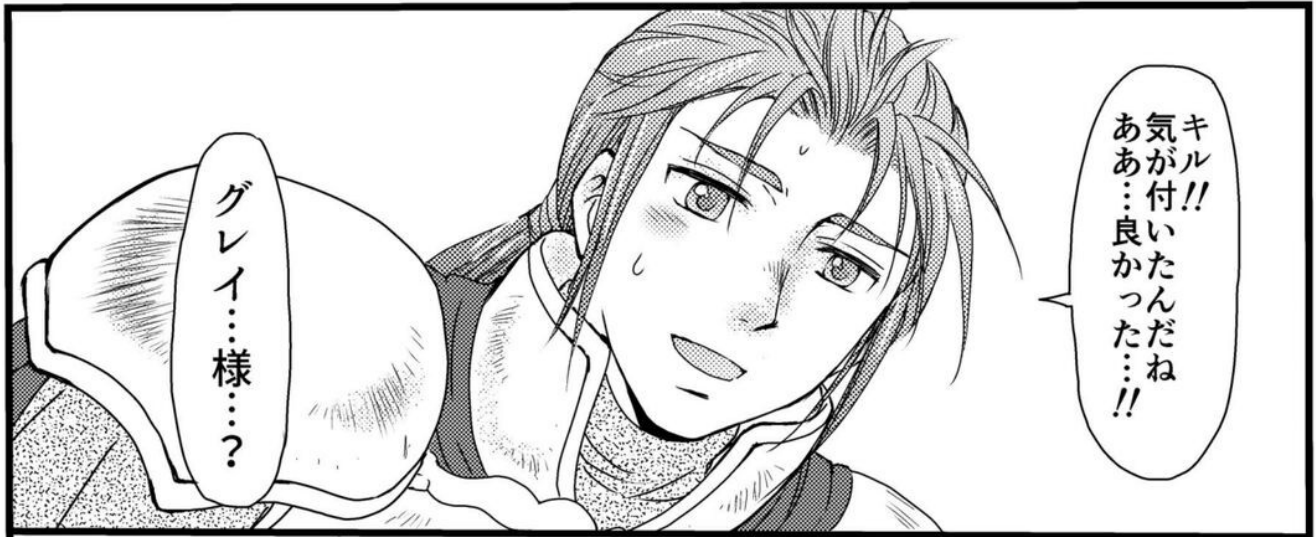
ちくしょう…
身体が動かかねえ

目も霞んで…
きやがったで…
俺はここか…？
死ぬのか…？



何だろう…
身体があたたかい…

やさしい光…
俺、死んじまった
のかな…



キル!!
気が付いたんだね
ああ…良かった…!!

グレイ…様…?



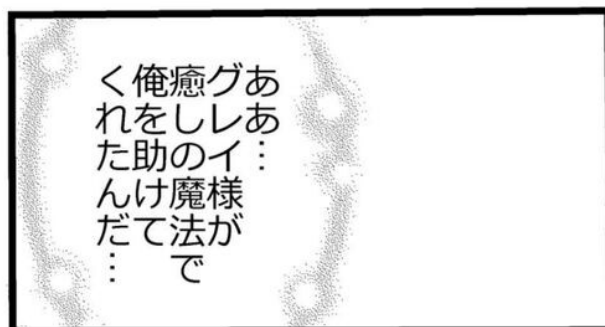
君がいつまでも
来ないものだから
嫌な予感がして
引き返してきたんだ。
酷い傷だ…可哀想に



王…様…は…?
ごぼっ!!

ああ、
喋らなくていい。

王は無事だよ。今
隊の者達に避難
させている

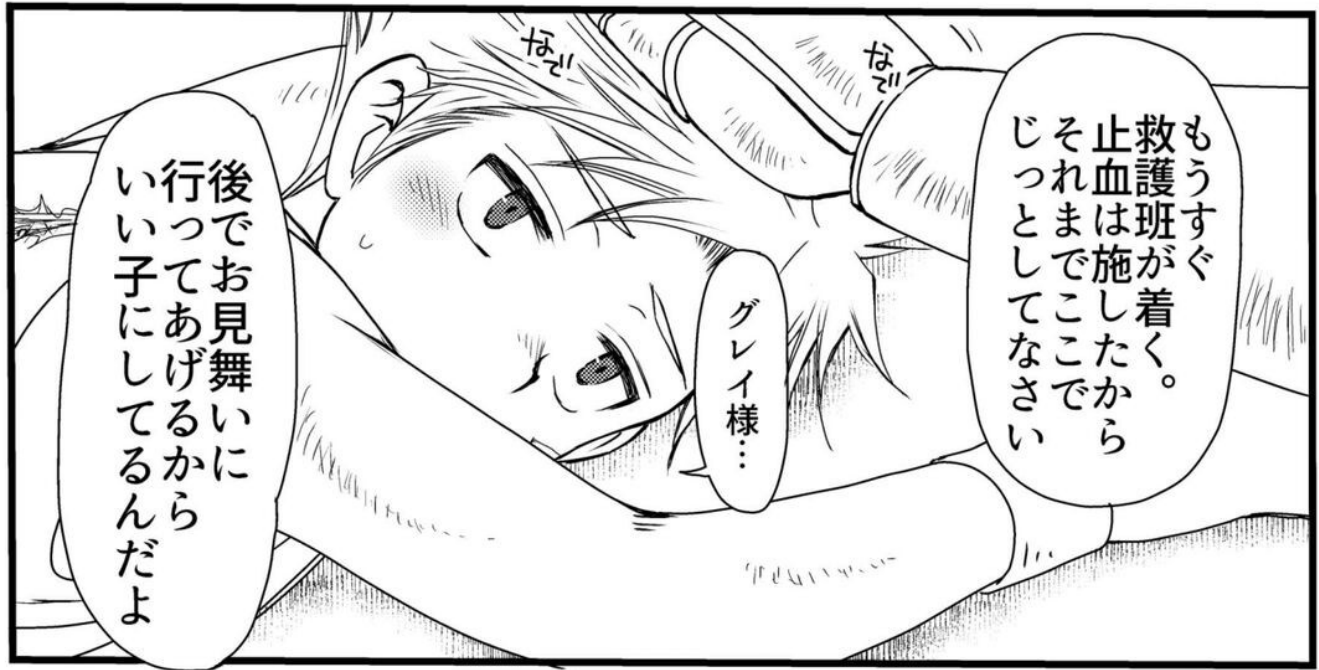


あれを癒す…
俺の魔法だ…
グレイ様…
助けて…



賊はあらかた
片付けたが一匹奥に
逃げ込んだ奴でいる…
おそろく奴でいる…
最後だろう

部下が
追っつはいるが
私ももう加勢に
向かわねばならん



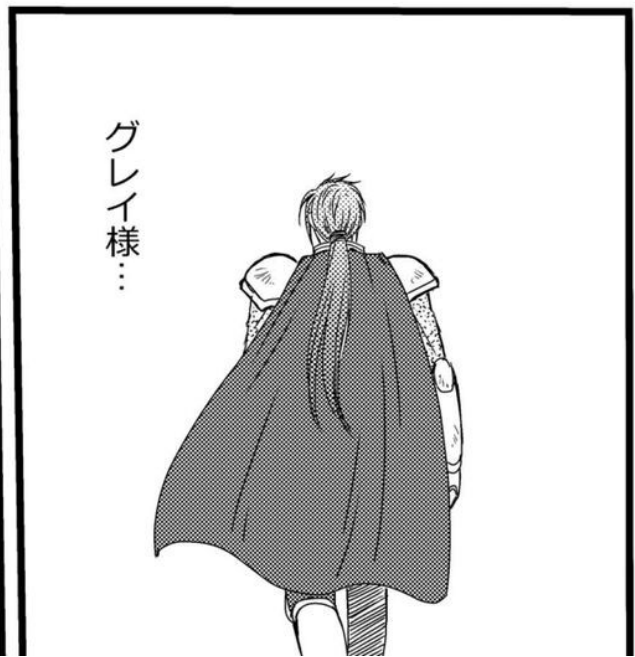
もうすぐ
救護班が着く。
止血は施したから
それまでここで
じっとしてなさい

グレイ様…

後でお見舞いに
行ってあげるから
いい子にしてるんだよ



かくん

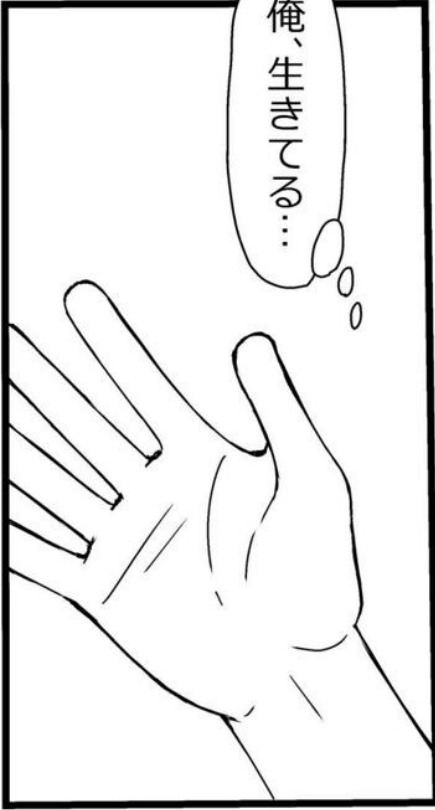


グレイ様…

次に目が覚めると
そこは病院の上だった

あれから三日も
眠ったらしい…

俺、生きてる…



医者の話では
癒しの魔法
で処なける
急ぎ置かば
死んでしまう
かな

グレイ様のは
おかげで俺は
助かったかな…

グレイ様はもう
見たいには来て
くれたのかな

早く顔が
見えてな…

グレイ様の葬儀は
家族だけの密葬に
したらしいよ…

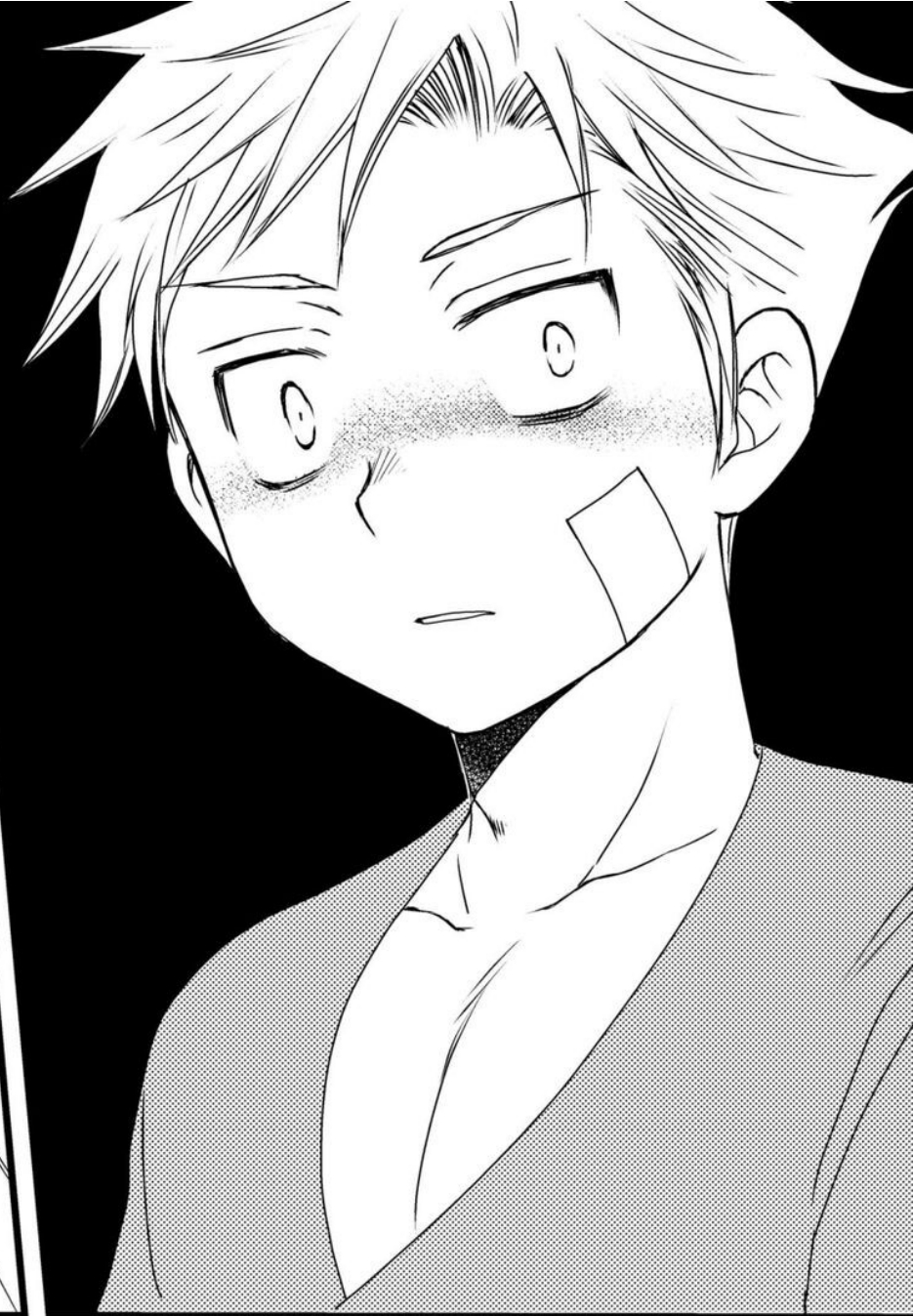
あの噂、本当
だったのかな…





葬儀ってなんだよ!!
噂って…

ん? 坊主は
知らないのかい

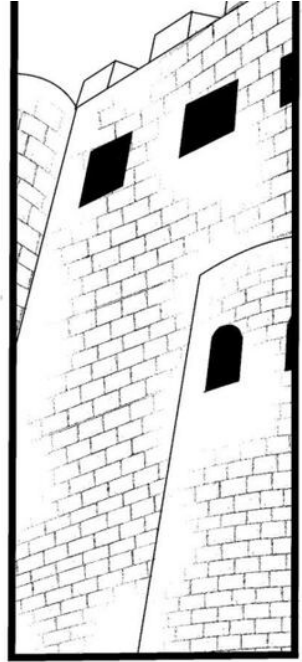


嘘だ…そんなの…全部嘘だ…!!



グレイ様が…死んだ…

城の事件の時に
グレイ様は賊と
相打ちになって
死んだんだと
でも不審な点が
いくつかあって、賊の
手引きをしたのも
グレイ様じゃないかって
もっぱらの噂さ



あの晩君は
グレイと一緒に
いたんだらう？
襲撃前、君達は
何をしていたのかね

書類整理の仕事が
急に入って二人で
片付けてました

付き人は夜伽を
するらしいが
それは？

しましたが何か？
セックスが襲撃と
関係あるのかよ
ジジイ

議長、書類整理は
私が頼みました。
グレイ様は休暇の所
私のミスの為に…

ふむ…確かに
処理済みの書類は
執務室に残されて
おった。嘘は言って
おらんようじゃの

賊は隊長と副隊長の
部屋の通路の奥から
侵入しているのだぞ

その上オードが
真っ先に殺害
されてるのには
グレイの部屋は無視、
妙ですなあ

避難の時は中の
グレイの時が
あつたのか
これと怪しい

まあ、心酔する
主人を庇いた
気が持ちはわ
グレイが無実
証拠もないの
だよ、う
キル君。

どいつもこい
クソみてえな
連中…

ああ。
冒険者になって
グレイ様が教えて
くれた剣をもつと
磨くんだ

ああ。

なあキル、
城を出るって
本当なのか？



ぼ、冒険者？
剣なら城でも稽古
できるだろう？

グレイ様のいない
こんな城に居たって
何の意味もねえよ…

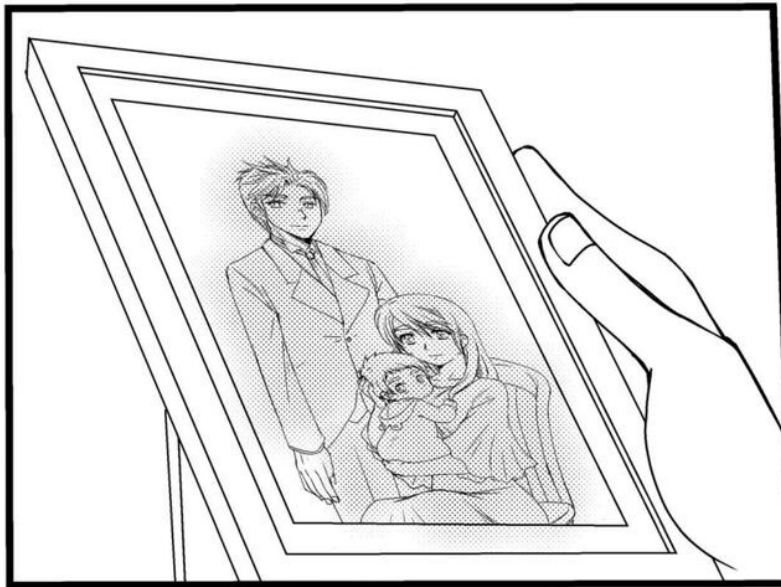


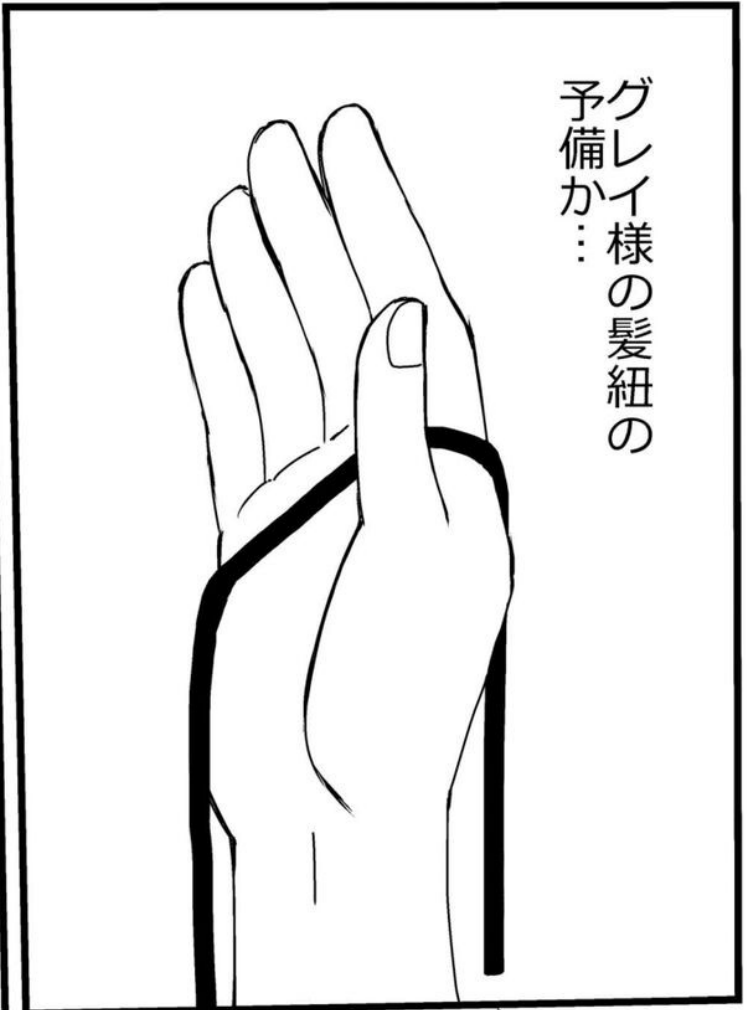
俺、お前の
作るメシ
好きだったよ！

またいつか
作って
くれよな！！

キル…







俺は髪が短くて
結えねから、
首につけておこう





グレイ様、俺、
絶対強くなってみせる

あの時に戻れるなら
グレイ様をお助け
出来るくらい…

だから、俺の事…
側で見守っててくれ…

剣を握りしめ、
俺はグレイ様と
大切な思い出
の部屋をあとに
しまった
——

ここまでお読み下さりありがとうございました。
メインシリーズの「はじめての～」では主人公
アッシュ君の恋人であるキルさんですが今回は
彼が少年だった頃にアッシュ君の父グレイ様と
出会い、関係を持っていた時代のお話となっ
ております。

キルくんはグレイ様の事が大大大好きなので、一
体何回「グレイ様…」って言ってるんだよって位
沢山セリフに入れました^^;

漫画版を描くにあたって小説版とはいろいろと
エピソードを弄っていますので、小説版をご存
知だった方もはじめての方も楽しみいただけ
たらさいわいです～。

ちなみに襲撃事件ですが小説第三部のほう
でもチラッと話が出てますので気になる方は
そちらもよろしくお願いします(pixiv)

2018.04/まぶき

感想おまちしてます(*^-^*)

異国の料理人

～はじめての冒険記番外編～

発行日：2018年4月30日
発行元：むぎしぼり/まぶき
twitter@mabuki_shibori
pixiv:2475464
mabukishibori@gmail.com

※この作品は転載禁止です※

異国の料理人

～はじめての冒険記番外編～

2018.04.むぎしぼり

